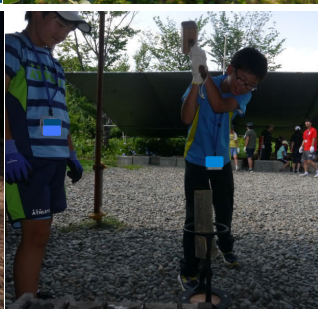
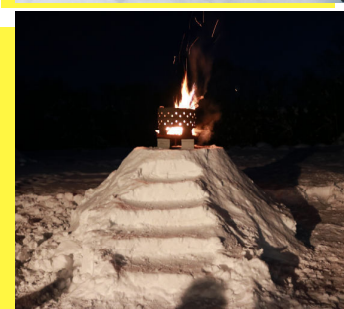




活動プログラム集

2 0 2 3

北海道立青少年体験活動支援施設ネイパル砂川
指定管理者：一般財団法人北海道子どもの国協会



Contents

1. 宿泊学習プログラム「小・中・高」別展開例	2~6
2. 体験活動プログラム一覧	7~8
3. 野外活動アクティビティ	9
1 ウォークラリー	10
2 マップリーディング	11
3 ポストハントラリー	12
4 フォトラリー	13
5 石山登山・ハイキング	14
6 ナイトハイキング	15
7 ハザードマップラリー	16
8 野外炊飯	17~20
9-1 火おこし（舞いきり式）	21
9-2 // （ファイヤースターター）	22
10-1 まき割り体験（ナタ）	23
10-2 // （キンドリングクラッカー）	24
11 たき火体験	25~27
12 流しそうめん	25
13 そり・チューブ滑り	26
14 雪遊び	27
4. スポーツレクリエーション活動アクティビティ	28
1 室内スポーツ（球技等）	29
2 ニュースポーツ	30
キンボール、フロアカーリング、トリコロキューブ フロアペタンク、ディスコン、モルック、テニポン	
3 キャンプファイヤー	31
4 キャンドルのつどい	32
5 キックゴルフ	33
6 スノーシュートレッキング	34
7 スレッドリレー	35
8 館内ウォークラリーアクティビティ	36
5. 創作活動アクティビティ	37
1 ウッドクラフト	38
2 ウッドレジン	39
3 表札づくり	40
4 写真立てづくり	41
5 マイはしづくり	42
6 えだエンピツ	43
7 ワックスボールづくり	44
8 七宝焼き	45
9 草木染め	46
9-2 草木染マスク	47
10 うどんづくり	48
11 石窯ピザづくり	49~50
6. 室内活動アクティビティ	51
1 SDGsってなんだろう & すごろく（小学生用）	52
2 SDGsすごろく「Go Goals」（中学生用）	53
3 コミュニケーショントレーニング	54

小学生向け宿泊体験（1泊2日）夏季プログラム展開例

対象 小学5年生
教科等 理科・体育・図工・家庭・特別活動等
時期 6月～9月
展開例

日	午前	午後	夜
1日目	移動	野外炊飯（カレー作り） 教科等との関連：家庭	ナイトハイキング 教科等との関連：体育・理科
		カヌー体験 （砂川、滝川B&G） 教科等との関連：体育・特別活動	ファイヤーストーム 教科等との関連：特別活動
		石山登山 教科等との関連：体育・特別活動	ニュースポーツ体験 教科等との関連：体育・特別活動
2日目	ふしぎの森探検 教科等との関連：特別活動	移動	
	ウッドクラフト 教科等との関連：図工		
	石山登山 教科等との関連：理科・体育		



野外炊飯（カレー作り）



ニュースポーツ体験

小学生向け宿泊体験（1泊2日）冬季プログラム展開例

- 対象 小学5年生
- 教科等 理科・体育・図工・家庭・特別活動等
- 時期 12月～3月
- 展開例 上

日	午前	午後	夜
1日目	移動	スノーキャンドルづくり 教科等との関連：図工	キャンドルナイト 教科等との関連：特別活動
		スノーシュートレッキング 教科等との関連：体育・理科	ファイヤーストーム 教科等との関連：特別活動
		簡易イグルーづくり 教科等との関連： 図工、特別活動	星空観察 教科等との関連：理科
2日目	雪遊び・そり遊び 教科等との関連：特別活動 体育	移動	
	うどん作り 教科等との関連：生活科		
	ニュースポーツ体験 教科等との関連： 体育、特別活動		



スノーキャンドル



スノーシュートレッキング

中学生向け宿泊体験（1泊2日）夏季プログラム展開例

- 対象 中学2年生
- 教科等 理科・体育・家庭科・特別活動
- 時期 5月～10月
- 展開例

日	午前	午後	夜
1日目	移動	ウォークラリー 教科等との関連：理科、体育	ファイヤーストーム 教科等との関連：特別活動
		コミュニケーション トレーニング	キャンドルサービス 教科等との関連：特別活動
		※ネイパル砂川近郊での 体験学習	ナイトハイク（ホテル観察） 教科等との関連：体育、理科
2日目	ウッドクラフト 教科等との関連：理科、家庭科	移動	
	※ネイパル砂川近郊での 体験学習		
	野外炊飯 教科等との関連：家庭科		

※ ネイパル砂川近郊での体験学習

（例）三笠市・・・三笠市は炭鉱に関する遺構や博物館、公園等が充実しており、北海道遺産である「空知の炭鉱関連施設と生活文化」について、効果的に学習や体験ができます。

美唄市・・・宮島沼ではマガンや環境学習についての学びを深めることができます。また、廃校を活かした彫刻美術館アルテピアッツァ美唄で美術の学びを深めることができます。

砂川市、滝川市・・・B&G 海洋センターではヨット、カヌー等の水上体験が出来ます。

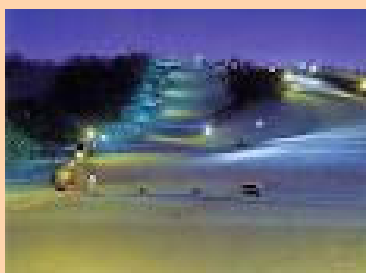
ネイパル砂川だからできる自然体験に加えて、これらの地域学習もお勧めします。

※近郊での体験学習については、該当地域の施設又は教育委員会等に直接お問い合わせ願います。

短期宿泊体験（1泊2日）冬季プログラム展開例

- 対象 中学2年生
- 教科等 美術、体育、特別活動
- 時期 12月～3月
- 展開例

日	午前	午後	夜
1日目	移動 部活動やクラブ活動での体力作りとして施設を活用することもできます。	ワックスボール作り 教科等との関連：美術	雪あかりの路 ★ワックスボールに火を灯して幻想的な雰囲気を作りだします。
		スキー場でのスキー学習① 教科等との関連：体育	キャンドルサービス 教科等との関連：特別活動
		キックゴルフ、チューブすべり 教科等との関連：体育	体育館での練習 筋力トレーニング
2日目	スノーシュートレッキング 教科等との関連：体育	移動	
	スキー場でのスキー学習② 教科等との関連：体育		
	ニュースポーツ体験 ・キンボール ・フロアカーリング		



←スキー場でのスキー学習を行うことによって、楽しい学習になるのはもちろん、公共施設でのマナーの学習にもなり、有意義な学習の時間となるはずです。
※砂川市近郊のスキー場はかもい岳スキー場（歌志内）とそっち岳スキー場（新十津川）になります。

「ネイパル=夏」のイメージがありますが、雪の多い地域だからこそできる！学校外だからこそできる！そんな体験を、ネイパル砂川で是非一緒に考えさせてください！！

高校生新入生宿泊研修（2泊3日）プログラム展開例

- 対象** 高校1年生
- 特徴** コミュニケーション重視、人間関係づくり、目標設定
- 教科等** 特別活動等
- 時期** 入学後早い時期

展開例

日	午前	午後	夜
1日目	移動	施設オリエンテーション コミュニケーショントレーニング① ・出会の活動 ・知り合う活動	学校生活オリエンテーション ・学校生活、行事、学習等に関する ガイダンス
2日目	コミュニケーショントレーニング② ・互いをわかり合う活動 ・組織力を高め合う活動	学級別研修	学級対抗レクリエーション ・キンボール、フロアカーリング等のニュー ースポーツ
3日目	全体研修 研修のまとめ		移動



体験活動プログラム一覧

I 野外活動

	活動名	対象	時間	資料	備考
歩く	1 ウォークラリー	小4～	1.5～	コース図、解答用紙	地図・記号を見ながら、ポイントの設問に答えます
	2 マップリーディング	小学生～	1.5～	コース図、解答用紙	絵地図を見ながら、ポイントの設問に答えます
	3 ポストハントラリー	小3～	2～	コース図、解答用紙	ポストを探して課題に答えます
	4 フォトラリー	小学生～	2.5～	コース図、お題用紙	夏季のみ(5月～10月)
	5 石山登山・ハイキング	幼児～	1～3	コース図	山道を歩いて山頂を目指す
	6 ナイトハイキング	小学生～	1.5～	コース図	夜の野山を散策します
	7 ハザードマップラリー	小4～	2～2.5	コース図、ラリーシート	避難場所を探し、クイズに答えます
食べる	8 野外炊飯	小学生～	3～	野外炊飯マニュアル	夏季のみ(5月～10月)
	9 火おこし	小5～	0.5～1		舞いきり式、ファイヤースターター
	10 まき割り体験	小学生～	0.5		夏季のみ(5月～10月)
	11 キンドリング(まき割り)	小学生～	0.5		夏季のみ(5月～10月)
	11-2 キンドリング(まき割り) & 火おこし	小学生～	1～		夏季のみ(5月～10月)
	12 流しそうめん	幼児～	1～		夏季のみ(6月～9月)
遊ぶ	13 そり・チューブ滑り	幼児～	0.5～1.5		冬季のみ(1月～3月)
	14 雪遊び	幼児～	0.5～1.5		冬季のみ(1月～3月)

II スポーツ・レクリエーション活動

	活動名	対象	時間	資料	備考
屋内スポーツ	1 球技				
	・卓球	小学生～	1～	体育館用具一覧	卓球台4台
	・バレーボール	小学生～	1～	体育館用具一覧	バレーコート2面
	・バスケットボール	小学生～	1～	体育館用具一覧	バスケットコート1面
	・フットサル	小学生～	1～	体育館用具一覧	フットサルコート1面
	・バドミントン	小学生～	1～	体育館用具一覧	バドミントンコート3面
	・ミニバレー	小学生～	1～	体育館用具一覧	バドミントンコート3面
2 ニュースポーツ	小学生～	1～	ルール資料	フロアカーリング、キンボール、ディスコン、テニポン、モルック、ペタンク、トリコロキューブ	
その他	3 キャンプファイヤー	幼児～	1～1.5	資料、脚本例	
	4 キャンドルサービス	幼児～	1～1.5	資料、展開例	
	5 キックゴルフ	幼児～	0.5～2	ルール、スコアカード	冬季のみ(1月～3月)
	6 スノーシュートレッキング	小4～	0.5～2		冬季のみ(1月～3月)
	7 スレッドリレー	幼児～	0.5～	ルール	冬季のみ(1月～3月)
	8 屋内ウォークラリー	小3～	1～	課題シート	

Ⅲ 創作活動

	活動名	対象	時間	資料	備考
クラフト	1 バッグタグづくり	幼児～	1.0～		
	2 キーホルダーづくり	幼児～	1.0～		
	3 コースターづくり	幼児～	1～		
	4 ネームプレートづくり	幼児～	1～		
	5 表札づくり	小学生～	1.5～		
	6 写真立てづくり	小学生～	1.5～		
	7 マイはしづくり	小5～	2.5～		
	8 えだエンピツ	小4～	1.0～		
	9 ワックスボールづくり	小3～	1～		
	10 七宝焼き	小4～	2		
	11 草木染め	小学生～	3～		
食べる	12 うどんづくり	小学生～	2.5～	作り方資料	冬季のみ(11月～3月)
	13 石窯ピザづくり	小学生～	3～	作り方資料	夏季のみ(5月～10月)

Ⅳ 室内活動

研修	講義・講話	小学生～			放送機器、ホワイトボード
	SDGsってなんだろう	小4～	2		ビデオプロジェクター、すごろく
	コミュニケーショントレーニング	小学生～	1～	資料	
	音楽鑑賞・音楽活動、ビデオ鑑賞	幼児～			ステレオ、電子ピアノ、エレクトーン

Ⅴ 周辺施設での体験活動

施設名	移動(車)	体験できること	住所	電話番号
北海道子どもの国	徒歩10分	ふしぎの森、ヤッホーの森、歩くスキー	砂川市北光401-1	0125-53-3319
砂川市公民館	20分	調理実習、研修、講演会など	砂川市西8条北3丁目	0125-52-2339
砂川市交流センターゆう	20分	調理実習、研修、コンサートなど	砂川市東3条北2丁目3-3	0125-54-3111
砂川市総合体育館	20分	各種スポーツ、大会など	砂川市日の出1条9丁目2	0125-54-2175
砂川IB&G海洋センター	15分	カヌー、ヨットなど(5月初旬～10月中旬)	砂川市西3条北10丁目	0125-52-4809
砂川遊水地管理棟	20分	治水、防災、川の学習、Eボート体験など	砂川市西5条南8丁目	0125-52-3141
滝川市こども科学館	20分	科学体験	滝川市新町2-6-1	0125-22-6690
滝川市美術自然史館	20分	見学(タキカワカイギウや化石)など	滝川市新町2-5-30	0125-23-0502
滝川ふれ愛の里	35分	陶芸、そば打ち、パン作りなど	滝川市西滝川76番地1	0125-26-2000
滝川スポーツセンター	30分	各種スポーツ、大会など	滝川市二の坂町東3-2-1	0125-23-4617
滝川IB&G海洋センター	35分	カヌー、ヨットなど(5月初旬～10月中旬)	滝川市西滝川10番地	0125-23-4194
川の科学館(滝川市)	35分	治水の学習など	滝川市西滝川1	0125-24-0989
新十津川町文化伝習館	40分	陶芸、織物、染物など	新十津川町字総進191-3	0125-76-2991
雨竜沼湿原	50分	夏山登山、自然観察など	雨竜町役場	0125-77-2211

● 詳しい内容(予約の有無、費用、活動時間、人数等)については、施設によって異なりますので、直接お電話でお問い合わせください。

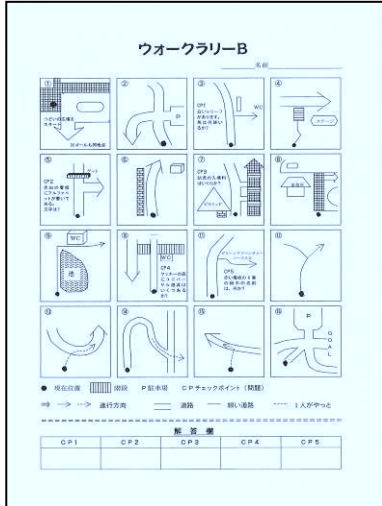
野外活動アクティビティ

- 1 ウォークラリー
- 2 マップリーディング
- 3 ポストハントラリー
- 4 フォトラリー
- 5 石山登山・ハイキング
- 6 ナイトハイキング
- 7 ハザードマップラリー
- 8 野外炊飯
- 9-1 火おこし（舞いきり）
- 9-2 "（ファイヤースターター）
- 10-1 まき割り体験（ナタ）
- 10-2 "（キンドリングクラッカー）
- 11 たき火体験
- 12 流しそうめん
- 13 そり・チューブ滑り
- 14 雪遊び

ウォークラリー

- 対象** 小学4年生以上
- ねらい** 望ましい人間関係づくり 地域の環境理解 健康の保持増進 体力向上 異年齢交流など
- 時間** 90～120分
- 準備物** [団体] 水筒 雨具 筆記用具 救急セット
[ネイパル] コース図ストップウォッチ クリップボード クマ除け鈴
※必要な地図、問題、解答用紙は事前に渡すことができます。(メール・FAX・直接)
必要な枚数は団体で準備し、当日持参してください。

展開

時間	活動内容	留意点
10分	<ul style="list-style-type: none"> ●趣旨説明 <ul style="list-style-type: none"> ・交差点、分岐点だけの連続図を使って、道を歩く。 ・かくしタイムが設定されている。 ・途中で、チェックポイントの問題に答える。 ・時間得点と、問題得点の合計を競う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題を自分たちで設定することも出来る。
10分	<ul style="list-style-type: none"> ●グループづくり <ul style="list-style-type: none"> ・1グループ4～6名程度。 ●コース図説明 <ul style="list-style-type: none"> ・「●」は現在地、「→」は進行方向。 ・東西南北、距離は一定していない。 ・「CP」チェックポイント：課題を解決。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事前につくっておくと効率的 ・コース図配布。
50分	<ul style="list-style-type: none"> ●スタート <ul style="list-style-type: none"> ・3～5分程度の間隔でスタート。 ・コース図（CP回答欄付）を持ち、グループで行動する。 <p>[コース図]</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ストップウォッチ ・チェックポイント等に担当者配置 ・安全指導
10分	<ul style="list-style-type: none"> ●ゴール <ul style="list-style-type: none"> ・順位の決定。 時間得点（ゴールが規定時間に近いほど得点が高い）に問題得点（CPの問題の正答数による）を加算して集計する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・集計表
10分	<ul style="list-style-type: none"> ●ふりかえり <ul style="list-style-type: none"> ・グループのまとめ、積極的に活動したメンバーを認め合う。 	

マップリーディング

対象

小学生以上

ねらい

望ましい人間関係づくり 地域の環境理解 健康の保持増進 体力向上 異年齢交流など


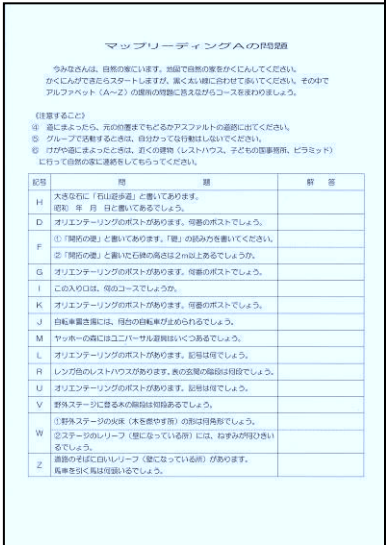
時間

90～120分

準備物

[団体] 水筒 雨具 筆記用具 軍手 帽子 救急セット
 [ネイパル] マップ クマ除け鈴 ストップウォッチ クリップボード
 ※必要な地図、問題、解答用紙は事前に渡すことができます。(メール・FAX・直接)
 必要な枚数は団体で準備し、当日持参してください。




展開

時間	活動内容	留意点
10分	<p>●趣旨説明</p> <ul style="list-style-type: none"> 一枚の地図をたよりに見知らぬ土地を歩き、課題に取り組む 仲間と行動し、コースを判断し、協力して課題を解決する。 	
10分	<p>●グループづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 1グループ4～6名。 <p>●内容説明</p> <ul style="list-style-type: none"> 回答用紙を受け取る。 指定されたコースを通り、チェックポイント付近で課題を解く。 グループのメンバー全員ゴール後、回答用紙を提出する。 	<ul style="list-style-type: none"> 事前につくっておくとよい。
90分 (Sコース) 120分 (Lコース)	<p>●スタート</p> <ul style="list-style-type: none"> グループごとに出発。 設定時間を超えたら戻る。 <p>マップ</p>  <p>問題</p> 	<ul style="list-style-type: none"> 5分間隔 回答用紙 ストップウォッチ 筆記用具
10分	<p>●ゴール</p> <ul style="list-style-type: none"> メンバー全員帰還、回答用紙を確認。 回答について採点し、順位を決める。 	
10分	<p>●ふりかえり</p> <ul style="list-style-type: none"> グループのまとめ、メンバー同士を認め合う。 	

ポストハントラリー

- 対象** 小学3年生以上
- ねらい** 望ましい人間関係づくり 健康の保持増進 体力向上 異年齢交流など
- 時間** 120分
- 準備物** [団体] 筆記用具 水筒 雨具(雨天時用) 救急セット
[ネイパル] 記録シート(地図付) 課題シート クリップボード クマ除け鈴
※必要な地図、問題、解答用紙は事前に渡すことができます。(メール・FAX・直接)
必要な枚数は団体で準備し、当日持参してください。

展開

時間	活動内容	留意点
10分	<p>●趣旨説明</p> <ul style="list-style-type: none"> 仲間と行動し、協力して時間内にポストを見つけ出す。 ポストの内容を記録する。 記録内容を基に、課題シートに答える。 	
10分	<p>●グループづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 1グループ4～6名。 <p>●内容説明</p> <ul style="list-style-type: none"> 記録シート(地図付)と課題シートを受け取る。 時間内に出来るだけ多くのポストを見つけ出し、内容を記録する。 チェックポイントを時間内に巡った後ゴールを目指す。 メンバー全員がゴールしたら、課題シートを提出する。 ※課題シートは自己採点も可。 	<ul style="list-style-type: none"> 事前につくっておくとよい
80分	<p>●スタート</p> <ul style="list-style-type: none"> グループごとにスタート。 設定時間までにゴールする。 <p>地図・記録紙 課題シート ポスト例</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;">  <p>ポストハントラリー記録カード</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>ポストハントラリー課題シート</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>ポスト例</p> </div> </div> <p>ポスト例: A, 5, あ, 熊のイラスト</p>	<ul style="list-style-type: none"> 2～5分間隔 安全管理のためチェックポイントには大人を配置。
10分	<p>●ゴール</p> <ul style="list-style-type: none"> ゴール時にグループメンバー全員がいることを確認。 タイム、回答内容を集計し、採点する。 	<ul style="list-style-type: none"> 解答 集計表
10分	<p>●ふりかえり</p> <ul style="list-style-type: none"> グループのまとめ、メンバー同士を認め合う。 	

フォトラリー

- 対象** 小学生以上
- ねらい** 望ましい人間関係づくり 自然との関わり、すばらしさ 体力向上 異年齢交流など
- 時間** 150分～ ※時間設定は活動に応じて変更可能
- 準備物** [団体] 水筒 雨具 筆記用具 帽子 時計 救急セット
 写真を持ち帰る場合は記録用メディア（USB、SDカードなど）
 [ネイバル] エリアマップ チェック用紙 カメラ クリップボード クマ除け鈴
 ※必要なエリアマップ、チェック用紙は事前に渡すことができます。（メール・FAX・直接）

展開

時間	活動内容	留意点
10分	<ul style="list-style-type: none"> ●趣旨説明 <ul style="list-style-type: none"> ・チェック用紙の写真と同じ場所に向かい、★の指令をした写真を撮り、得点をためる。（写真左上に得点） ・制限時間にあった、ルートを考えさせる。 ・制限時間を過ぎると、得点がマイナスになる。（1分＝－1点） 	
10分	<ul style="list-style-type: none"> ●グループづくり <ul style="list-style-type: none"> ・1グループ4～6名程度。 ●エリアマップ説明 <ul style="list-style-type: none"> ・7つのゾーンから制限時間内に行ける場所を回ってくる。 ・制限時間の記入。 ・立ち入り禁止区域。 ・「WC」の位置がトイレ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事前につくっておくと効率的 ・コース図配布。 ・ルート、作戦を決める話し合いを数分もうける。
50分	<ul style="list-style-type: none"> ●スタート <ul style="list-style-type: none"> ・班ごと一斉にスタート。 ・エリアマップ、チェック用紙を持ち、グループで行動する。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;"> <p>[エリアマップ]</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>[チェック用紙]</p>  </div> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・時計 ・安全指導
10分	<ul style="list-style-type: none"> ●ゴール <ul style="list-style-type: none"> ・順位の決定。 撮れている写真の得点とゴールタイムポイントの合計。 	<ul style="list-style-type: none"> ・写真 ・USBの用意
10分	<ul style="list-style-type: none"> ●ふりかえり <ul style="list-style-type: none"> ・グループのまとめり、積極的に活動したメンバーを認め合う。 	

石山登山・ハイキング

- 対象** 幼児以上
 - ねらい** 自然との関わりへの関心 天気の変化 地域の地理的環境 健康増進など
 - 時間** 60～180分
 - 準備物** [団体] 軍手 雨具 水筒 行動食 帽子 救急セット
[ネイパル] 各マップ クマ除け鈴
- ※必要な地図は、事前に渡すことができます。(メール・FAX・直接)
必要な枚数は団体で準備し、当日持参してください。

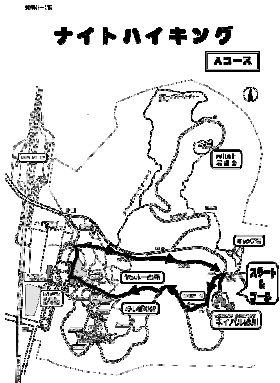
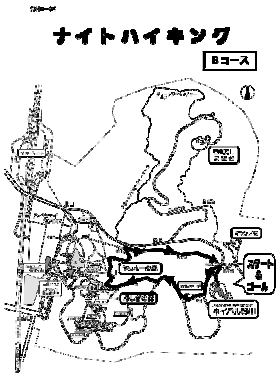
展開

時間	活動内容	留意点
10分	<p>●ハイキングの方法と目的を説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然にふれる。 ・天気（雲、風向き）の様子や平野、山地の様子を知る。 ・健康増進、森林浴効果。 	
40分 ～100分	<p>●活動開始</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各班にマップを渡す。 ・行動範囲と、時間の連絡。 ・安全に関する確認。 <p>[ヤッホーの森探検含] [ふしぎの森探検含] [石山登山]</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>見晴しハイキング 距離 ⇒ 片道 1.2km (遊歩道・朱鷺線)</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>ふしぎの森ハイキング 距離 ⇒ ふしぎの森までの約1.2km</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>石山登山 距離 ⇒ 全行程約3～4.5km (登山道、遊歩道、鉄コース)</p> </div> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の中に、水遊び、アスレチック、昼食などを取り入れる場合もある。 ・安全指導のため、隊列の前後や途中に大人を配置する。 ・参加者の年齢、活動目的に合わせてコースを設定。
10分	<p>●活動終了</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全員帰還、体調やけが等の確認。 	

ナイトハイキング

- 対象** 小学生以上
- ねらい** 望ましい人間関係づくり 自然のすばらしさ不思議さ 体力向上 体づくり
- 時間** 90～120分
- 準備物** [団体] 防寒着（雨具） 水筒 帽子 虫よけスプレー 救急セット 懐中電灯
[ネイバル] 地図 クマ除け鈴
※必要な地図は、事前に渡すことができます。（メール・FAX・直接）
必要な枚数は団体で準備し、当日持参してください。

展開

時間	活動内容	留意点
10分	<ul style="list-style-type: none"> ●趣旨説明 <ul style="list-style-type: none"> ・仲間との行動による安心感、信頼感。 ・闇の中での動植物の生態など。 	
10分	<ul style="list-style-type: none"> ●グループづくり <ul style="list-style-type: none"> ・目的により4～6名程度。 ●内容説明 <ul style="list-style-type: none"> ・コース、装備確認。 ・行動のルール確認。（走らない、単独で行動しない。） 	<ul style="list-style-type: none"> ・コース図、懐中電灯
50分 (80分)	<ul style="list-style-type: none"> ●スタート <ul style="list-style-type: none"> ・隊列、グループ毎等、目的により選択。 ・必要に応じて、各グループのスタートに時間差をつける。 ●活動例 <ul style="list-style-type: none"> ・途中見晴らしの良い場所で、星を眺める。 ・動物の鳴き声や水の音など日中、聞きづらい音に着目する。 ・チェックポイントを設けて、課題を与えるなど。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>ナイトハイキング Aコース</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>ナイトハイキング Bコース</p> </div> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・安全管理のため、隊列の前後に指導者を配置するか、何箇所か待機場所を設ける。 ・課題を与える場合は、筆記用具を準備する。
10分	<ul style="list-style-type: none"> ●ゴール <ul style="list-style-type: none"> ・各グループの全メンバーの帰還を確認。 ・課題を与えた場合、採点、順位を決める。 	
10分	<ul style="list-style-type: none"> ●ふりかえり <ul style="list-style-type: none"> ・自然に対する感動を共有。 ・仲間同士の認め合い。 	

ハザードマップラリー（ひなん王）

対象

小学校4年生以上

ねらい

防災に関する体験的な活動 望ましい人間関係づくり 異年齢交流など

時間

90分～120分

準備物


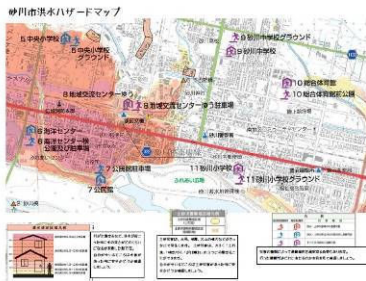
[団体] 水筒 雨具 筆記用具 帽子 時計 救急セット

写真を持ち帰る場合は記録用メディア（USB、SDカードなど）

[ネイパル] ※ラリーシート ※砂川市ハザードマップ ※チェック用紙 カメラ

クリップボード （※印のものは団体で必要数分コピーして持参する）

展開

時間	活動内容	留意点
事前	<ul style="list-style-type: none"> ●グループづくり <ul style="list-style-type: none"> ・1グループ4～6名程度。 ●コース決め <ul style="list-style-type: none"> Aコース 砂川小学校・総合体育館・砂川中学校 (約4km・1時間程度) Bコース 砂川小学校・地域交流センターゆう・公民館 (約5.3km・1時間20分程度) 	<ul style="list-style-type: none"> ・事前にグループを作っておく。 ・コースを決めたらグループでルートを話し合っておく。
10分	<ul style="list-style-type: none"> ●趣旨及び内容説明 <ul style="list-style-type: none"> ・避難場所になっている5つの場所で緑の看板と一緒に班のメンバーも入れて写真を撮りクイズに答える。 ・洪水ハザードマップの見方を説明する。 ・ゴールの場所を伝える。 ・制限時間を過ぎると、得点がマイナスになる。(1分＝－1点) 	<ul style="list-style-type: none"> ・スタートとゴールは砂川遊水地管理棟になる。 ・砂川遊水地管理棟で事前にトイレに行っておく。(休業日は毎週月曜日(祝日の場合はその翌日)、年末年始)
65分～95分	<ul style="list-style-type: none"> ●スタート <ul style="list-style-type: none"> ・班ごと一斉にスタート。 ・ラリーシートとハザードマップを持ち、グループで行動する。 [ラリーシート] [ハザードマップ] <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・避難場所になっている5つの場所で引率者は待機し、児童・生徒の安全管理・見守りをする。 ・「ゆう」へは砂川駅の自由通路を通って行く。砂川駅で見守りをするとうい。 ・砂川遊水地で自転車の貸し出しをしているので事前に問い合わせをして借りておく引率者の移動がスムーズに行く。 <p>砂川遊水地 TEL：0125-52-3141</p>
5分	<ul style="list-style-type: none"> ●ゴール <ul style="list-style-type: none"> ・クイズの答えの確認。 	<ul style="list-style-type: none"> ・写真 ・USBの用意
10分	<ul style="list-style-type: none"> ●ふりかえり <ul style="list-style-type: none"> ・ハザードマップラリーをして気づいたことや感想を発表する。 ・グループのまとめ、積極的に活動したメンバーを認め合う。 	

野外炊飯（カレーライス）

対象 小学生以上

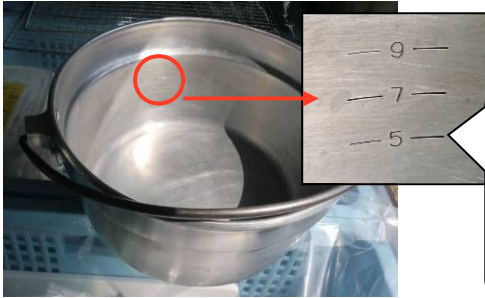
定員 120名（かまど20台）

ねらい 食に関する体験的な活動 望ましい人間関係 異年齢集団交流

時間 180分

準備物 〔団体〕軍手 新聞紙 食器（器、箸、スプーン）ごみ袋 ライター 食材 まき スポンジ
 （「食材、まき、スポンジ、洗剤」はネイパルで購入可）
 〔ネイパル〕かまど 火ばさみ 調理器具（鍋、包丁、まな板など）、まき割り用具
 流し台排水口用水切りネット

展開

時間	活動内容	留意点
10分	●趣旨及び内容説明 ・一連の作業と活動中の安全・役割分担を確認。	
30分	●まき割り〔P23～24・「まき割り体験」参照〕 ・なた等を使用し、細・中・太それぞれの太さのまきを準備する。	・割済みのまきを使用する場合は省略。
30分	●食材準備 ・調理器具をよく洗う。 ・なべはクレンザーコーティングをする。〔P18「なべのクレンザーコーティング」参照〕 ・米をとぐ。 ・肉・野菜を切る。 ●かまどの準備（P25「たき火体験」、P26「かまどマニュアル」参照） ・かまどの中に、まきを組む。 ※ かまどに火をつけるタイミングは鍋を火にかけても良い状態になってから。	・まき割りと平行して進めることもできる。
40分	●炊飯〔P19「ご飯の炊き方」参照〕 米1に対して、水1.0～1.2の割合。 米1合（180ml=150g）なら水は200～210ml程度。 鍋の中には水用の印（写真）がついているので参考にする。  ●火加減〔P19「火かげん」参照〕 「はじめチョロチョロ、中パッパッ、じゅうじゅう吹いたら火を引いて、赤子泣いても蓋とるな・・・」が基本	・炊飯と同時に、カレーを調理する。〔P20「カレーの作り方」参照〕 ・米の分量がわからない時は、手のひらを米の上面に当て、くるぶしあたりに水面がくるくらいが適当。 ・数秒程度の短い時間なら、蓋を開けて炊け具合を確認してもよい。
30分	●食事	
40分	●後片付け ・調理器具をよく洗ったら水分を拭き取り、ネイパル職員の点検を受ける。 職員のOKが出たらもとの場所にもどす。 ・流しを洗い、排水口のネットを生ゴミ袋に入れてゴミステーションに捨てる。 ・かまどの燃え残りや灰を炭捨缶に捨てる。〔P27「かまどの火の後始末」参照〕	・なべの内側はよく洗う。洗い残しがあるとカビや雑菌が繁殖して不衛生になる。 ・なべの取っ手周辺はスス汚れが残りやすいので注意する。

なべのクレンザーコーティング

なべのクレンザーコーティングにはコーティング場所を一ヶ所に決めて行う「コーナー集中型」と、各テーブルでコーティングを行う「コーナー分散型」があります。

A. コーナー集中型 (コーティングコーナーを設置し、全てのなべをコーナーでコーティングする。)



② 水を少しずつ入れて、手でこねるクリーム状になったら完成。



※かたさの目安はソフトクリームやホイップクリームくらい (ツノがたたない程度にゆるめがポイント)

③ 広いところに長テーブルを設置し、なべのコーティングコーナーとする。一つのボウルで、5~6個程度のなべのコーティングが可能。ボウルの数に応じて設置するテーブルを増やす。

※一つのテーブルにボウル二つが理想

コーティングはボウルからクレンザーを手ですくってなべにすりつける。

※作業後はボウルとテーブルを拭いて元の位置に収納します。



なべの上から2cm (指の第1間接) 程度のところまでコーティングします

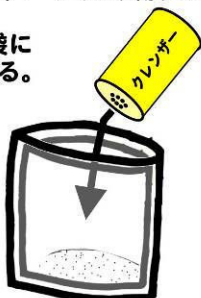
「持ち手」のところはコーティングしません

↑↓2cm程度

B. コーナー分散型 (コーティング用クレンザーを分配し、各班のテーブルでコーティングする。)

① 二枚重ねたビニール袋にクレンザーを1/2本分入れる。

※一本で5~6個のなべをコーティングできるので、一つの班にはクレンザー1/2本分で良い。



② 水を少しずつ入れて、手でこねる。クリーム状になったら完成。



※この①~②の作業は (a) 児童生徒が行なう方法と、(b) 引率者が事前に作業を行なっていて、出来上がったものを各班に配布する方法がある。(b) は時間の短縮になる。

(b) は学校等で行って来る事が可能。ジップロック等の様に、封の出来る袋が便利。

③ 各班のテーブルに新聞紙を広げ、その上でコーティング作業を行う。

コーティングはビニール袋からクレンザーを絞り出し、手でなべにすりつける。

※作業後の新聞紙とビニール袋は燃えるゴミとして処分します。

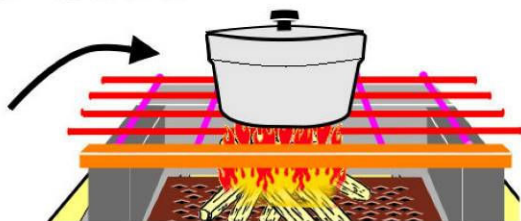


コーティングの範囲は「コーナー集中型」と同じです。

ご飯の炊き方と火かげん

〈炊き方〉

- ①火の準備が出来たら かまどになべをのせる



- ②水がふっとうすると なべのふたがガタガタして すきまから湯気が出てくる



- ③ふたのガタガタが完全におさまったら ふたをあけて なべの中を見る
表面にあわがあったり 水分が見られる時は なくなるまで火にかける

〔まだ早い例〕



〔炊きあがりの例〕

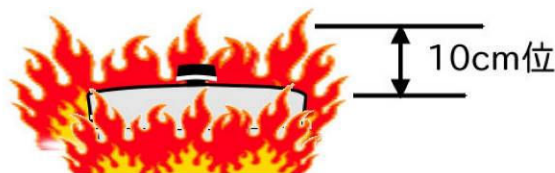


※何度もふたを開けて湯気がなくなると「むらし」が弱くなるので注意する!

- ④ごはんが炊きあがったら かまどからおろして 食べるまでそのままにする (むらし)

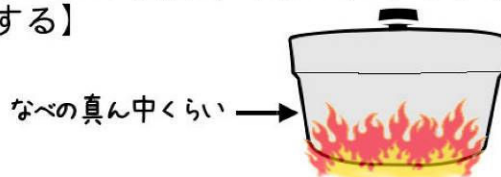
〈火かげん〉

- ①は強火
【なべをのせたら 火の高さがなべの上から10cm位までとなるように調整する】

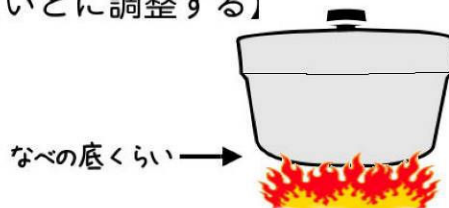


- ②の始めは強火
【ふっとう中に火が小さくならないように注意する】

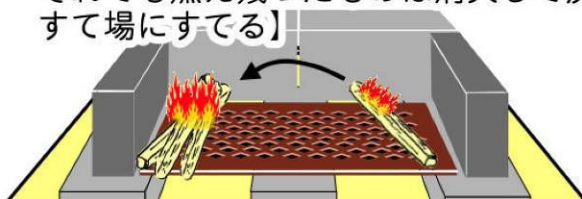
- ②のとちゅうから中火
【ふたのガタガタが小さくならたら 火の高さがなべの真ん中くらいになるように調整する】



- ②の終わりから③は弱火
【ふたのガタガタが静かになって 湯気が少なくなったら火の高さがなべの底に届くくらいに調整する】

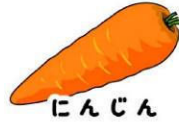


- ④残り火のしまつ
【ごはんとカレーの両方が終わったら 燃え残ったまきを1か所に集めて できるだけ燃やし切る
それでも燃え残ったものは 消火して灰すて場にすてる】

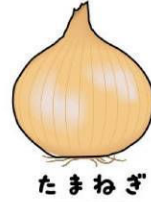


●カレーライスの作り方

① 野菜をよく洗って
かわをむき、小さく
切り分けます

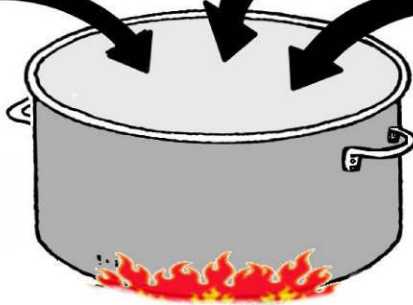
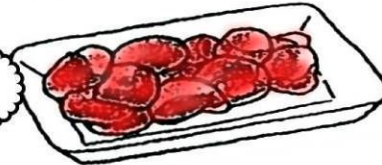


② なべを火にかけたら
すぐに油を入れます
なべが熱くなったら
肉と野菜をいためま
す



野菜

肉



③ 野菜に火がとおったら
なべに水を入れて
煮ます

水は、野菜などの
具材がかくれる
くらい入れます。
※入れすぎ注意!!

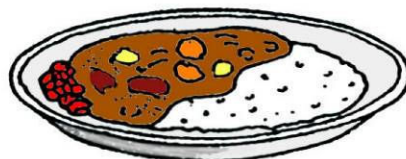


④ カレールーを
入れます



カレーがかたい時は
少しずつ水を入れて
調整します

⑤ できあがり



火おこし（舞いきり式）

対象 小学5年生以上

定数 20台（20グループ）

ねらい 燃焼の仕組み 望ましい人間関係 異年齢集団交流

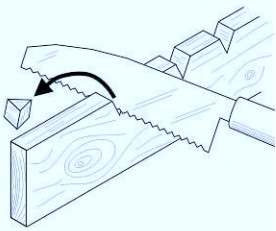
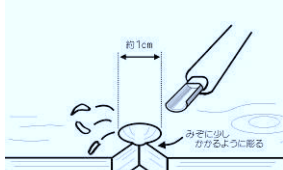

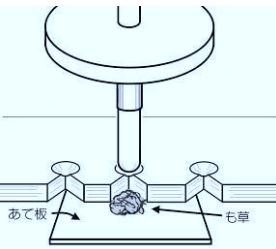
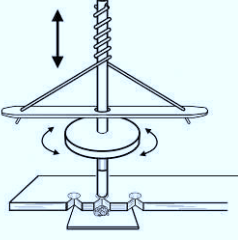
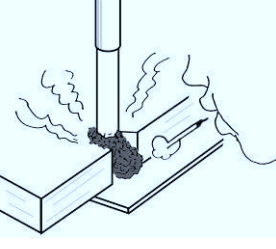
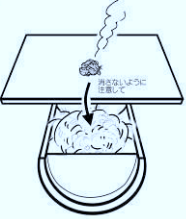
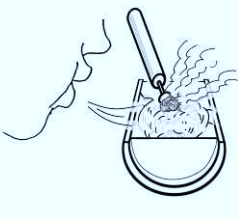

時間 30～60分

準備物 [団体] 軍手 ろうそく 火きり板

[購入できるもの] 火きり板

[ネイパル] まいぎり式火おこし器 ラミン棒 もぐさ 火受け筒（竹） 麻ひも おさえ棒



展開

時間	活動内容	留意点
(30分)	<p>●準備</p>  <p>① 火きり板をのこで、約 60 度の三角に切り落とす。</p>  <p>② 板に彫刻刀で直径 1cm くらいの「火きりうす」を彫る。</p>  <p>③ 10cm くらいの麻ひも 3 本をほどいて、綿状にする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・団体が火きり板を事前に作成してくる場合は①、②を参考にして下さい。（火きり板の寸法：10cm×40cm程度） ・当施設の火切り板を使用する場合は①、②は不要です。
25分	<p>●火おこし1</p>  <p>① あて板を当て、もぐさを置き、火きり棒を火きりうすに当てる。</p>  <p>② はっきりと煙が出るまで、途中で止めずに回転させる。</p>  <p>③ 煙が止まらないくらいになったら、静かに息を吹きかけ、もぐさに火が移るのを確認する。</p>	<p>①みぞの中にもぐさを詰め込まないように注意！</p> <p>②火おこし器の回転が重くなってからが勝負！回転を止めないように頑張ろう！</p> <p>③煙の目安は、煙の先が透けて見えないくらいに白く濃くなった状態。 息を吹きかける時は、もぐさの周りを両手で包み込むようにして、手のすき間から息を吹き込む（煙を吸い込まないように注意！）。</p>
25分	<p>●火おこし2</p>  <p>① もぐさの量を増やしていき、火が消えないように注意しながら、竹の火受け筒に入れる。</p>  <p>② 麻ひもをほどいた綿をかぶせ、おさえ棒で押さえて、息を断続的に吹きかける。</p>  <p>③ 白い煙が出て、さらに息を吹き続けると勢いよく発火する。</p>	<p>①もぐさの火を地面に落とさないように慎重に！</p> <p>②息を吹きかける時は煙を吸い込まないように注意する。</p> <p>③麻ひもは急激に燃え上がるので、やけどに注意する。</p>
10分	<p>●火を保存する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・点火した火をろうそくに移し、もぐさ等は消火する。 <p>※ 火の保存にランタンを使用する場合及び、かまどに使用する場合は P22 「火おこし（ファイヤースターター）」を参照</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・麻ひもはすぐに消えてしまうので、手早く行なう。

火おこし (ファイヤースターター)

- 対象** 小学5年生以上
- 定数** 20個 (20グループ)
- ねらい** 燃焼の仕組み 望ましい人間関係 異年齢集団交流
- 時間** 30~40分
- 準備物** [団体] 軍手 ティーライトキャンドル (火を維持する場合)
[ネイパル] ファイヤースターター 受け皿 (竹) 麻ひも 火ばさみ、一斗缶、ランタン、綿棒

展開

時間	活動内容	留意点
5分	<ul style="list-style-type: none"> ●活動の目的、全体の流れ、諸注意をネイパル職員から聞く。 1 班に渡される物 ファイヤースターター (1)、麻ひも (3本)	
5分	<ul style="list-style-type: none"> ● 火おこし体験 (ファイヤースターター) ・ 麻ひもほぐして綿状の「モフモフ」を作り受け皿に入れる。  <p>麻ひも 3本程度 10cmくらい 綿状の「モフモフ」にする 受け皿に入れる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 野外炊飯や焚き火に使用する場合は受け皿を使用せずに、「モフモフ」を焚きつけの新聞紙の上に置いて、その上で火おこしすることも可能です。
10分~20分	<ul style="list-style-type: none"> ・ ファイヤースターターを使い、受け皿の「モフモフ」に着火する。 ① 「モフモフ」のすぐ上でストライカーをマグネシウム棒に強くこすりつけ、火花を「モフモフ」の上に落とす。 ② 火がつかなかったら①を繰り返す。 ③ 火の着いた「もふもふ」は一斗缶の中に捨てる。 ④ 火おこしに再度挑戦する場合は①から繰り返す。 ⑤ 保存する場合はランタンに移す。	POINT <ul style="list-style-type: none"> ・ 持ち手の凹みに親指をあてがう。 ・ ストライカー (金属板) は利き手に持つ。 ・ ストライカーのバリ (引っかかり) のある方を棒にあてる。 ・ スピードよりも力強さを重視でこすりつける。  <p>ランタン ティーライトキャンドル 火ばさみ かまど マグネシウム棒 ストライカー ☆重要☆ ストライカーをあてる角度は40~45°</p> <p>長軸綿棒。事前にライター用オイル等をしみこませておく 力強くこすって火花を飛ばす!!</p> <p>[横から見たところ]</p>
	<p>※ 野外炊飯や焚き火に使用する場合は火ばさみでつかんだ予備の「モフモフ」や新聞紙に火を移し、セットしたまき組みの新聞紙に着火させる。受け皿部分を省略し、「モフモフ」をかまどに直接セットして火おこしを行うことも可能。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 火おこしを繰り返す場合は一度に「モフモフ」を使い切らないように注意する。
10分	<ul style="list-style-type: none"> ● 後片付け ・ 使用後の用具を片付ける。 ・ かまどを使用した場合の片付けは P25 「たき火体験」を参照。 ○ 振り返り (野外炊飯や焚き火と合わせて行う場合を除く) 良かった点や、考え深め主体的に行動していた場面などを、全体で交流し、挑戦を続けた姿勢を認め賞賛する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ かまどを使用した場合はやけどへの注意が必要なので、引率者が行うことを推奨します。 ・ かまど清掃が終了したら、職員にその旨を伝えて下さい。

まき割り体験（ナタ使用）

- 対象** 小学生以上
- 定員** 20台（20グループ）
- ねらい** 望ましい人間関係 コミュニケーション 異年齢集団交流
- 時間** 30分～40分
- 準備物** [団体] 軍手
 [購入できるもの] まき（1グループに1束必要です）
 [ナイバル] なた まき割り台



展開

時間	活動内容	留意点
10分	<p>●準備</p> <ul style="list-style-type: none"> まき割りセットを確認。 なた、まき割り台、まき 	
10分	<p>●まき割りの安全な方法を全員で確認する</p> <p>※まき割りは二人一組で行います。</p> <p>ナタの刃をまきに食い込ませるため、太めのまきでナタの背中をたたきます</p> <p>ナタの刃はそえるだけ</p> <p>ナタの刃がまきに十分に食い込んだら、まき割り台に打ちつけてまきを割ります</p> <p>まきで叩く人は両手に手袋をします</p> <p>①</p> <p>※ナタは素手で持つ</p>  <p>ナタを持つ人は利き手の手袋を取ります。（すべり止めのため）</p>  <p>②</p> 	<ul style="list-style-type: none"> 道具の危険性を認識し、正しい扱い方を覚える。 仲間と協力して安全で効率的な活動を心がける。 ●その他の注意 ナタを振る人(まき割りする人)の前や近くに立たない。 まきについている大きな節は無理に割ろうとしない。 二列でまき割りするときには、背中合わせに行う。
20分 ～ 40分	<p>●まき割り体験</p> <ul style="list-style-type: none"> けがのないよう、安全にまき割りに挑戦する。 <p>○まきは次のように切りそろえます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 大きな節のある木は割らずにそのまま→燃えにくいが長く燃える。 半分に割った中太のまき→火はつきにくい、良く燃える。 4～6分割した細いまき→特に点火の時に役立つ。火がつきやすく良く燃えるが、すぐ燃え尽きる。 	<ul style="list-style-type: none"> 団体責任者（大人）が必ずつくこと。 ナタの刃を素手で触らない。 移動する時など、ナタを振る人に当たらないように十分に気をつける。
	<p>○ 割り終わったまきのかまどの横に運び、道具を片付けます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 細かな切りくずは点火の時に役立つので集めておくと良い。 	

まき割り体験（キンドリングクラッカー使用）

- 対象** 小学生以上
- 定数** 20台（20グループ）
- ねらい** 望ましい人間関係 コミュニケーション 異年齢集団交流
- 時間** 40分～60分
- 準備物**
 - 〔団体〕 軍手
 - 〔購入できるもの〕 まき（1グループに1束必要です）
 - 〔ネイパル砂川〕 キンドリングクラッカー カケヤ（ハンマー）

展開

時間	活動内容	留意点
10分	<p>●準備</p> <ul style="list-style-type: none"> まき割りセットを確認。 キンドリングクラッカー、カケヤ（ハンマー）、まき 	<ul style="list-style-type: none"> キンドリングの刃の部分は触らない。
10分	<p>●まき割りの安全な方法を全員で確認する</p> <p>※キンドリングクラッカーは一人で行えます。二人一組も可能です。</p> <p>①</p>  <p>②</p> 	<ul style="list-style-type: none"> 道具の危険性を認識し、正しい扱い方を覚える。 仲間と協力して安全で効率的な活動を心がける。 ●その他の注意 まき割りする人の近くにはいかない・立たない。 打つ時は、あまり力を入れすぎない。 班が多い場合、距離を空けて行う。
20分 40分	<p>●まき割り体験</p> <ul style="list-style-type: none"> けがのないよう、安全にまき割りに挑戦する。 <p>○まきは次のように切りそろえます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 大きな節のある木は割らずにそのまま→燃えにくいが長く燃える。 半分に割った中太のまき→火はつきにくいですが、良く燃える。 4～6分割した細いまき→特に点火の時に役立つ。火がつきやすく良く燃えるが、すぐ燃え尽きる。 	<ul style="list-style-type: none"> 団体責任者（大人）が必ずつくこと。 カケヤを振りまわさない まき割りをする人の正面に人を立たせない。 割れたまきが飛んで人に当たる可能性があるため、周辺も注意する。 移動する時など、カケヤを振る人に当たらないように十分に気をつける。
	<p>○ 割り終わったまきのかまどの横に運び、道具を片付けます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 細かな切りくずは点火の時に役立つので集めておくと良い。 	

たき火体験

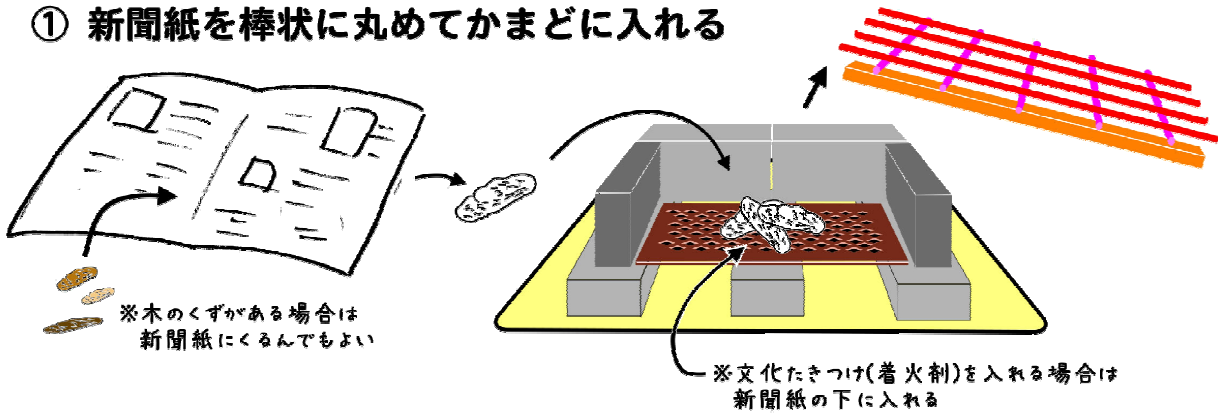
- 対象** 小学生以上
- ねらい** 対話的で主体的な深い学び 望ましい人間関係 コミュニケーション
- 時間** 通常 30～90分
- 準備物**
 - 〔団体〕軍手 新聞紙（1班1日分） マッチ（1班10本）
 - 〔購入できるもの〕まき（2グループに1束）
 - 〔ネパール砂川〕かまど キンドリングクラッカー ファイヤーstarter カケヤ うちわ 麻ひも

展開

時間	活動内容	留意点
10分	<ul style="list-style-type: none"> ●活動の目的、全体の流れ、諸注意をネパール職員から聞く。 1班に渡される物 キンドリングクラッカー（1）、かけや（1）、ファイヤーstarter（1）、うちわ（1）、麻ひも（1人2本）、新聞紙（1日分）、マッチ（10本） 	<ul style="list-style-type: none"> ・キンドリングの刃の部分は触らない。 ・炎は上に上がるので、マッチは水平に持つ。 ・火の粉が飛び散るので火が付いたら、あおぐのはやめる。
30～40分	<ul style="list-style-type: none"> ● まき割り体験（キンドリング） ※ P24「まき割り体験（キンドリング使用）」を参照 	<ul style="list-style-type: none"> ・割り済みまきを購入する場合は省略可。
30～40分	<ul style="list-style-type: none"> ● 火おこし体験（ファイヤーstarter） ※ P22「火おこし（ファイヤーstarter）」を参照 	<ul style="list-style-type: none"> ・マッチを使うことで省略可。 ・火おこしで着火する場合はまきのセットを先に行う。
30分	<ul style="list-style-type: none"> ● 焚き火体験〔P26「かまどマニュアル」参照〕 ① かまどに新聞紙、木くず、細い木をセットする。 ② 火おこしの火又はマッチ等で着火する。 ③ 必要に応じてうちわで静かにあおぐ。 ④ 細い木に着火したら、徐々に太い木を追加し、炎を大きくする。 ⑤ 炎の大きさに応じてまきを追加し、割った木を全て燃やす。 ○ 職員の説明 ① 焚きつける物の燃えやすい順番を知らせる。 新聞紙→木のくず・皮→細い木→太い木 ② 班で相談しながら燃やし方を考え、自分たち流の火おこしに挑戦する。 ③ 新聞紙の使い方、うちわのあおぎ方がとても重要です。 ④ 手元にある、全ての木を燃やしつくして下さい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引率者は子どもの考えを尊重し、失敗から考えを深め、主体的に挑戦を続ける手助けや声かけを行う。 ・新聞紙の使い方やうちわのあおぎ方などキーとなるポイントの種明かしは最後まで行わない。着火に成功した班から、やり方を聞いて全体交流するのはOK。
10	<p>○振り返り</p> <p>良かった点や、考え深め主体的に行動していた場面などを、全体で交流し、挑戦を続けた姿勢を認め賞賛する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>かまどの片付け方〔P27「かまどの火の後始末」参照〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ①一斗缶に水を入れる。 ②スコップで灰をすくい、一斗缶に入れる。 ③かまどのブロックと網を元通りに戻す。 ④一斗缶の灰を、水ごと炭捨て場に捨てる。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・かまどの片づけは、火が消えるか弱火になってから行って下さい。引率者が行うことを推奨します。 ・かまど清掃が終了したら、職員にその旨を伝えて下さい。

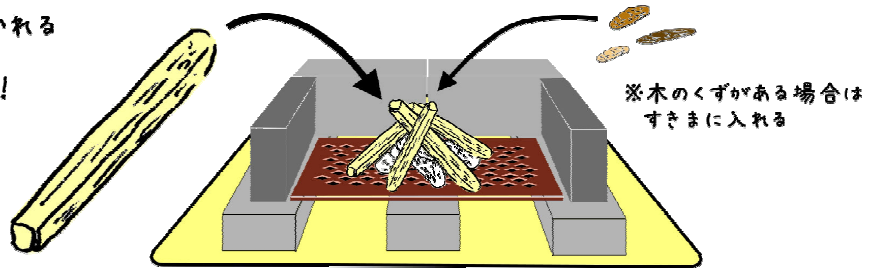
一かまどマニュアル

① 新聞紙を棒状に丸めてかまどに入れる



② 新聞紙の上に まきをかぶせるように入れる

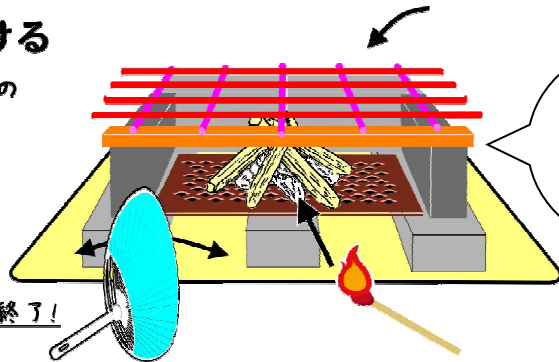
- ・はじめは細いまきをいれる
- ・まきの入れすぎ注意!



③ 鉄筋をかぶせたら火をつける

(調理をする場合のみ)

- ・火をつけるタイミングは ご飯のなべの準備ができたころ
- ・火をつけてから鉄筋をかぶせてもOK
- ・うちわを使う時は横向きに静かにあおぐ



たき火のみの場合は鉄筋をかぶせなくてもよい

※火が完全にまきに燃え移ったらうちわは終了!

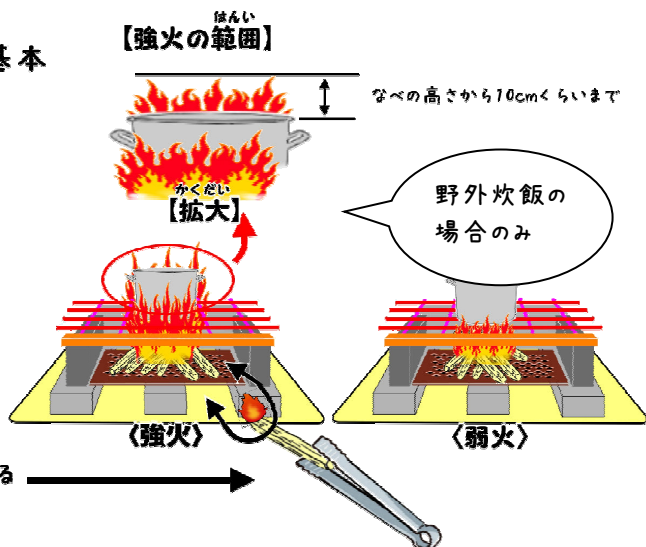
④ 火の大きさを調整する

(調理をする場合のみ)

- ・火の大きさは なべの高さの範囲内が基本
- ・強火の目安→なべの高さ前後
- ・弱火の目安→なべの底にとどく程度
- ・火のいきおいが弱くなってきたらまきを追加する

Point1: 一度にたくさん入れない
Point2: まきから火が出ている内に次のまきを入れる

- ・火が強すぎる時は 燃えているまきを火おさみでつかんで 下の段に移動させる
- ※ 火の勢いが弱くなってきたら上の段にもどす



重要:火の高さは50cm程度まで! それ以上は天幕が燃える恐れあり。舞い上がった火の粉に注意!!

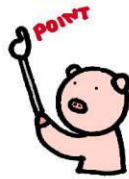
かまどの火の後始末

【かまどで調理をしたら...

 『いただきます』のその前に、火の後始末を始めましょう。】

※ 安全に、完全に消火するために、次の手順で作業を進めてください。

1 火消し用の缶に水を張る。



2 火ばさみとスコップを使って、水を張った缶に、かまどで残っている、火のついている薪と灰の全てを入れ、火を消す。



※ 『ごちそうさまでした。』

3 食事が終わったら、灰捨て場に缶の水ごと捨てる（完全に消火を確認！）。



以上で、終了です m(_ _)m

流しそうめん（夏季6月～9月）

対象

幼児以上

ねらい

食に関する体験的な活動 望ましい人間関係 異年齢集団交流

時間

60分(基本的に 12:00～13:00)

準備物

[団体] ポリ袋（ゴミ袋・透明か半透明の物で、燃えるゴミ用1枚、生ゴミ用1枚）
[ネイパル] 流しそうめん台一式、ブルーシート、副食用テーブル(野外炊飯用)、生ゴミネット、スポンジ、中性洗剤

展開

昼食として実施。昼食を取る団体が他にある場合は不可の場合あり。要相談

時間	活動内容	留意点
20分	<p>●事前準備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ブルーシート設置 ・流しそうめん台の組み立て・設置。 ・流しそうめん台の洗浄(水洗い)。 ・副食用テーブルの配置及びゴミ袋の設置。 	<ul style="list-style-type: none"> ・内容については必ず担当職員とご相談ください。 ※そうめんはゆで時間を若干要します。食べ始めの時間をお知らせください。
5分	<p>●流しそうめんの食べ方の説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・台に触れずにそうめんを箸で取る。 ・箸を立ててそうめんをせき止めたりせずに、一口で食べられる分を取る(独り占めしない、他の人への配慮)。 	<ul style="list-style-type: none"> ・人数によってはそうめんを食べる班と副食を食べる班に分けて交代で食べる等の工夫が必要です。
40分	<p>●まわりの人やそうめん台に注意して、楽しく食べる</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・そうめんを流す人はビニール手袋をはめて、少量ずつ流す。 ※ ミニトマトなど、他の食材の持ち込みはご遠慮ください。 ・取り切れずに流し台のざるにたまったそうめんは、再び流す。 ・そうめんの食べ過ぎに注意!(おなかをこわします)。 ・そうめんと副食をバランスよく食べる。 ・そうめんのおかわりはできません。 ※そうめんはゆで時間を要するので早めに申し出てください。
15分	<p>●後片付け</p> <ul style="list-style-type: none"> ・残ったつゆは、ざるごしに流し台に捨てる。 ・使い終わった紙食器や箸は燃えるゴミの袋に入れる。 ・残った食べ物は生ゴミの袋に入れる。(水気のあるものは、よく水を切って入れる) ・地面に落ちたそうめんは全部拾って生ゴミの袋に入れる。 ・副食用テーブルを片付ける。 ・ゴミの袋をゴミステーションに入れる。 ・ざるやトレイは厨房に返却する。 ・流し台を洗剤で洗う。 ・流しの排水口のネットを生ゴミ袋に入れてゴミステーションに捨てる。 <p>※そうめん台の片付けにご協力願います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・流し台の中に、生ごみを流さないように注意。 ・地面にそうめん等の食べ物は残さないように片付ける(残っていると野生動物を引き寄せる)。

そり・チューブ滑り（冬季 1月～3月）

対象 幼児以上

ねらい 身近な自然への関心 生活上必要な習慣と技能（ルール） 体づくり（バランス）

時間 30～90分

準備物 [団体] 防寒着 長靴 手袋 帽子 汗ふきタオル
[ネイパル] そり チューブ他

展開

時間	活動内容	留意点
10分	<p>●趣旨及び内容説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冬季の楽しみ、体力作り、遊びのルール。 ・斜面の登り方、すべった後の対応。 ・そりやチューブの使い方。 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全指導
10分	<p>●グループ分け</p> <ul style="list-style-type: none"> ・異年齢の活動の場合は、スタート台の高さなどで分ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・チューブの種類や年齢等を考慮する。
60分	<p>●活動開始</p> <p>登る場所を守る</p>  <p>安全な姿勢で</p>  <p>ゴールを確認し滑る</p>  <p>前をしっかりと見る</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・スタート、ゴールに大人を配置する。 ・滑走のタイミングに注意する。 ・チューブは専用コースで行う。登りは階段を使用し、つぼ足で歩かないようにする。 ・そりはチューブコース以外の斜面で行う。
10分	<p>●後片付け</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道具を元の場所に戻す。 ・手袋や帽子などの確認。 <p>●健康安全確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・しもやけ、凍傷、けがなどがいないか再度確認。 	<ul style="list-style-type: none"> ・寒いと自分で気付かない場合がある。

雪遊び（冬季 1月～3月）

- 対象** 幼児・小学生
- ねらい** 身近な自然への関心 材料（雪）の特長を生かした表現 協力による達成感
- 時間** 30～90分
- 準備物** [団体] 防寒着 長靴 手袋 帽子 汗ふきタオル
[ネイパル] 雪遊び道具など
- 展開**

時間	活動内容	留意点
10分	<p>●趣旨及び内容説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな状態の雪と、適した遊びについて。 ・作成の手順。 ・道具の使い方と安全について。 	
60分 ～ 90分	<p>●活動開始</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談してつくるものを決める。  <ul style="list-style-type: none"> ・雪を集め、固める。  <ul style="list-style-type: none"> ・大人の作った土台を飾る。 	<p>[ネイパル準備物]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雪遊び プラスチックスコップ バケツ プラスチック型など  
10分	<p>●片付けと安全確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・しもやけ、凍傷に注意する。 ・道具を元の場所に戻す。 	

スポーツ・レクリエーション 活動アクティビティ

- 1 室内スポーツ（球技等）
- 2 ニュースポーツ
- 3 キャンプファイヤー
- 4 キャンドルのつどい
- 5 キックゴルフ
- 6 スノーシュートレッキング
- 7 スレッドリレー
- 8 館内ウォークラリーアクティビティ

室内スポーツ(球技等)


- 対 象 小学生以上
- ねらい 協力 公正な態度 身体的技能 体力の向上
- 時 間 60分～
- 準備物 運動に適した服装 運動靴
- 展 開

時 間	活動内容	留意点
	<p>【屋内スポーツ種目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バスケットボール ・バレーボール ・ドッジボール ・フットサル ・卓球 ・バドミントン ・ミニバレーなど 	
5分～	<ul style="list-style-type: none"> ●準備 ・用具の点検、準備 	
5分	<ul style="list-style-type: none"> ●諸注意、ルール説明 ・事前にチームを編成しておくことスムーズに進行する 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全指導
10分	<ul style="list-style-type: none"> ●ウォーミングアップ ・体操、ストレッチ 	
30分～	<ul style="list-style-type: none"> ●活動開始 ・安全に留意しながら活動する 	
10分	<ul style="list-style-type: none"> ●クールダウン、まとめ ・ストレッチ ・ふりかえり ・後片付け 	



ニュースポーツ





- 対象 幼児以上
- ねらい 協力 公正な態度 身体的技能 体力の向上
- 時間 60分～
- 準備物 運動に適した服装 運動靴
- 展開

時間	活動内容	留意点
	<p>【ニュースポーツ種目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フロアカーリング ・キンボール ・ディスコン ・テニポン ・キックゴルフ ・フロアペタンク ・モルック ・トリコロキューブ 	
10分～	<p>●準備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・用具の点検、準備 	
5分	<p>●諸注意、ルール説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前にチームを編成しておくことスムーズに進行する 1チームの人数の目安 <ul style="list-style-type: none"> ①フロアペタンク、ディスコン、モルック（1～6名） ②キンボール（4～8名） ③フロアカーリング（1～3名） ④テニポン（1～2名） ⑤トリコロキューブ（3～9名） 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全指導 ・ルール説明のみ ネイパル職員が行うことも可能
10分	<p>●ウォーミングアップ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体操、ストレッチ 	
30分～	<p>●活動開始</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全に留意しながら活動する 	
5分	<p>●クールダウン、まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ストレッチ ・ふりかえり ・後片付け 	

キャンプファイヤー（通年可）

- 対象** 幼児以上
- ねらい** コミュニケーション 信頼感 一体感
- 時間** 60～90分
- 準備物** [団体] トーチ棒 懐中電灯 軍手 ライター 救急セット
 [購入するもの] キャンプファイヤーセット（焚付 丸太 灯油など）
 [ネイパル] 音響機材





展開

時間	活動内容	留意点
10分	<ul style="list-style-type: none"> ●趣旨説明 <ul style="list-style-type: none"> ・炎を中心に心を開き、信頼感を高める。 ・一体感、達成感を味わう。 ・活動や暮らしをふりかえる。 ●内容説明 <ul style="list-style-type: none"> ・役割分担確認 ・全体の流れ確認（点火、交歓、収火） ・安全確認 	<ul style="list-style-type: none"> ・まき組みなどは事前に行う。 ・交歓における出し物は来所前に準備しておくことが望ましい。 ・冬場にキャンプファイヤーをする時は、事前にスノーシューで雪を固め、キャンプファイヤー場を設営する。
40分	<ul style="list-style-type: none"> ●ファイヤー実施（例） <ul style="list-style-type: none"> ・点火（営火長入場、分火、点火） ・交歓（ゲーム、スタンツ、クイズ、ダンス、歌など） ・収火（感想、営火長挨拶、退場） <p>[実際の様子]</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;">   </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・人数、学年により、炎の大きさを考慮 ・営火長、司会、分火役 営火担当、音響担当 ・トーチ、点火剤、ライター、音響用CD、マイクなど
10分	<ul style="list-style-type: none"> ●片付け <ul style="list-style-type: none"> ・確実に消火し、冷却した状態で撤収する ・安全確認（走らない） 	<ul style="list-style-type: none"> ・消火用水

キャンドルのつどい


- 対象 幼児以上
- ねらい コミュニケーション 信頼感 一体感
- 時間 60～90分
- 準備物 [団体] ライター 懐中電灯など
[購入できるもの] ろうそく
[ネイバル] 聖火台 燭台 音響機材

展開

時間	活動内容	留意点
10分	<ul style="list-style-type: none"> ●趣旨説明 <ul style="list-style-type: none"> ・炎を中心に心を開き、信頼感を高める。 ・一体感、達成感を味わう。 ・活動や暮らしをふりかえる。 ●内容説明 <ul style="list-style-type: none"> ・役割分担確認 ・全体の流れ確認（点火、交歓、収火） ・安全確認 	<ul style="list-style-type: none"> ・交歓における出し物は来所前に準備しておくことが望ましい。
40分	<ul style="list-style-type: none"> ●キャンドルサービス実施（例） <ul style="list-style-type: none"> ・点火（営火長入場、分火、点火） ・交歓（ゲーム、スタンツ、クイズ、ダンス、歌など） ・収火（感想、営火長挨拶、退場） [実際の様子] <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・営火長、司会、分火役 営火担当、音響担当 ・聖火台、燭台、ライター 音響用CD、マイクなど
10分	<ul style="list-style-type: none"> ●片付け <ul style="list-style-type: none"> ・確実に消火し、冷却した状態で撤収する。 ・安全確認（走らない） 	<ul style="list-style-type: none"> ・消火用水

キックゴルフ（冬季 1月～3月）

- 対象
 幼児以上
- ねらい
 創造 協力 公正な態度 体力の向上荒らす
- 時間
 70分～120分
- 準備物
 [団体] 暖かい服装 手袋 帽子 長靴等
[ネイパル] サッカーボール フラッグスティック（旗） フラフープ
スノーシュー（コース作り用として1班に2セット程度）
- 展開

時間	活動内容	留意点
10分	<ul style="list-style-type: none"> ●活動内容の説明 ・事前にチームを編成しておく（3～6人程度）とスムーズに進行する。 ・順番にボールを蹴って、旗のあるフラフープに入れる。 ・コースは1チームで1コース作成する。（施設周辺） 	<ul style="list-style-type: none"> ・スノーシューを玄関前で履いてから移動するとスムーズに進む。 ・旗やフラフープはチームごとに持ち、移動。
20分	<ul style="list-style-type: none"> ●コース作り1 ・コース作りの手順 <ol style="list-style-type: none"> ①ティーとカップの場所を決定し、フラフープを置く。 ②カップに旗をさす。 ③ティーからカップまでを、スノーシューで踏み固めコースを作る。（踏み固める幅が狭いほど難易度が上がる） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ティーの設置場所を、あらかじめ引率者で決めておく、コースとコースのつながりがスムーズになる。
30分	<ul style="list-style-type: none"> ●キックゴルフ開始1 ・班にボールは1個。蹴る順番を決めて、前の人蹴ったボールを、その場から次の人が蹴りカップ（フラフープ）に入れる。 <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">  </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分達で作ったコースからスタートし、隣のコースに移動する。 ・人数が多い場合は、蹴る順番を前後させ、1コース2回行う。
50分	<ul style="list-style-type: none"> ●コース作り2 ・より難度の高いコースをチームで相談しながら作成する。 ●キックゴルフ開始2 ・より少ないキック数でクリアするための作戦を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・時間に応じて、コース数を変えたり、合同チームで作成するなどの工夫をすると良い。
10分	<ul style="list-style-type: none"> ●振り返り、片付け、移動 ・用具は全て玄関前に戻す。 	

※1時間程度の活動にしたい場合は、キックゴルフ1の後に、振り返りと片付けを行い、終了させる。

スノーシュートレッキング（冬季1月～3月）

- 対象** 小学4年生以上
- ねらい** コミュニケーション 信頼感 身近な自然への関心 協力による達成感
- 時間** 60～120分
- 準備物** [団体] 防寒着 手袋 帽子 ゴーグル 長靴
水筒 救急バッグ 甘いもの 救急セット
[ネイパル] スノーシュー、かんじき

展開

時間	活動内容	留意点
20分	<p>—準備—</p> <ul style="list-style-type: none"> ●人員確認・説明・諸注意 <ul style="list-style-type: none"> ・隊列の組み方、散策心得等。 ●スノーシューの履き方 <ul style="list-style-type: none"> ・つま先がしっかりフィットしているか。 ・かかとの締め付けが充分か。 ・ピンディング（バンド）の端末処理は大丈夫か。 ●スノーシューの歩き方と準備運動 <ul style="list-style-type: none"> □・歩き方と方向転換。 	<p>※コースの途中にはトイレはないので、出発前に必ずすませておく。</p>
20分 ） 80分	<ul style="list-style-type: none"> ●ハイキング・トレッキング <ul style="list-style-type: none"> <隊列の基本> <ul style="list-style-type: none"> 先頭 → 最も体力のある人 最後尾 → 2番目に体力のある人 ・深雪をラッセルする場合は、適宜先頭を交代する。 ・年齢が多岐にわたる場合は、子ども5～6人に対し大人が必ず1人付き添うような隊列を組む。 <コース> <ul style="list-style-type: none"> ・決められたコースはありません。 施設周辺や林間等を自由に歩きます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・途中の人数確認を怠らない。 ・道に迷ったら来た道に戻る。 ・天候や健康等の変化に十分注意し、無理な前進をしない。 ・人数が増えるほど先頭と最後尾では歩く環境が変化する。雪面の状況を楽しむためにも小集団をつくり、先頭を入れ替え歩くと良い。
20分	<ul style="list-style-type: none"> ●後片付け・まとめ <ul style="list-style-type: none"> ・雪を取り除き、ラックに格納する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ネイパルの物品を使用した場合は、元の場所へ返却する。 ・人数確認 ・健康チェック

スレッドリレー（冬季1月～3月）

対象 幼児以上

ねらい 協力 身体的技能 体力の向上

時間 30分～

準備物 暖かい服装 手袋 帽子 長靴等

ネイバル そり

展開

時間	活動内容	留意点
5分～	<ul style="list-style-type: none"> ●準備 <ul style="list-style-type: none"> ・用具の点検、準備 (交代地点、スタート地点のコーンの設置等) 	
5分	<ul style="list-style-type: none"> ●諸注意、ルール説明 <ul style="list-style-type: none"> ・事前にチームを編成しておくことスムーズに進行する 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全指導
10分	<ul style="list-style-type: none"> ●ウォーミングアップ <ul style="list-style-type: none"> ・体操、ストレッチ 	
30分～	<ul style="list-style-type: none"> ●活動開始 <ul style="list-style-type: none"> ・コースは体育館裏、食堂横 ・1人がそりに乗り、もう1人が引き、交代地点で役割を交代。 ・スタートからゴールまでのタイムを競う。 	
10分	<ul style="list-style-type: none"> ●クールダウン、まとめ <ul style="list-style-type: none"> ・ストレッチ ・ふりかえり ・後片付け 	



館内ウォークアクティビティ

- 対象** 小学3年生以上
- ねらい** 望ましい人間関係づくり 各種学習 施設の理解 体力向上 異年齢交流など
- 時間** 60～120分
- 準備物** [団体] 筆記用具
[ネイバル] 課題シート 掲示問題
- 展開**

時間	活動内容	留意点
	<ul style="list-style-type: none"> ●雨天時や空き時間に取り組める屋内プログラム。3種類ある。 ① 館内ウォークラリー 「問題シート」に書かれた「文章問題(クイズ)」、「じゃんけんバトル」、「写真のものを探す」という、3種類の課題に取り組む活動。 ② 屋内探検ウォーク 「探検シート」に書かれた問題(クイズ)の答えを、施設内を歩いて見つける。 ③ 屋内探検ビンゴ 「文章問題(クイズ)」と「写真のものを探す」という、2種類の課題に取り組み、ビンゴを完成させる。 	
10分	<ul style="list-style-type: none"> ●ルール説明 <ul style="list-style-type: none"> ・決められた時間内に施設内を歩いて課題シートの問題を解く。(番号順に回らなくても良い) ・スタートゲームの成績順にスタートする。 ・チェックポイントやゴール時間を守る。 ・得点は正解数による。ただし時間超過等による減点あり。 ●諸注意 <ul style="list-style-type: none"> ① 班員同士、協力する。 ② 施設内は走らない。 ③ 班ごとに行動する。 ④ 清掃作業をしている場合は電気コードを足に引っ掛けたり、清掃員にぶつからないように注意する。 ⑤ 宿泊室、厨房、ボイラー室及び他団体が活動中の部屋には入らない。 	・安全指導
10 ～ 20分	<ul style="list-style-type: none"> ●スタートゲーム(省略可) <ul style="list-style-type: none"> ・1グループ4～6名程度 	
60 ～ 90分	<ul style="list-style-type: none"> ●ラリー <ul style="list-style-type: none"> ・課題シートをグループで取り組む。 	・チェックポイント等に担当者配置
20分	<ul style="list-style-type: none"> ●ゴール <ul style="list-style-type: none"> ・正解発表、検証 ・時間超過等のペナルティ発表 	・集計表
10分	<ul style="list-style-type: none"> ●成績発表 <ul style="list-style-type: none"> ・成績の良かったグループを称える。 ・グループのまとめ、積極的に活動したメンバーを認め合う。 	

創作活動アクティビティ

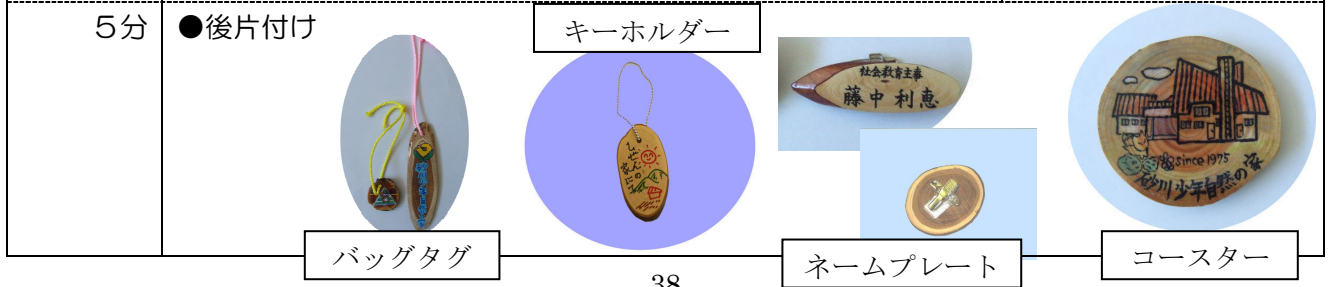
- 1 ウッドクラフト
- 2 ウッドレジン
- 3 表札づくり
- 4 写真立てづくり
- 5 マイはしづくり
- 6 えだエンピツ
- 7 ワックスボールづくり
- 8 七宝焼き
- 9 草木染め
- 9-2 草木染マスク
- 10 うどんづくり
- 11 ピザづくり

ウッドクラフト

- 対象 幼児以上
- ねらい 作品をつくりだす喜び 自然との関わりへの関心
- 時間 60分
- 準備物
 - [団体] 新聞紙 水性ペン（ポスカ小、プロッキー小等） 活動により必要な物
 - [購入するもの] バッグタグセット（輪切り材又は斜め輪切り材、紙やすり、紐）
 - キーホルダーセット（輪切り材又は斜め輪切り材、紙やすり、ボールチェーン）
 - ネームプレートセット（斜め輪切り材、紙やすり、両用ピン）
 - コースターセット（コースター、紙やすり）
 - クリアースプレー
- [ネイパル] カッター カッターマットなど

展開

時間	活動内容	留意点
	<ul style="list-style-type: none"> ●輪切り材を活用したプログラム。4種類ある。 ①バッグタグ作り ②キーホルダー作り ③ネームプレート作り ④コースター作り 	
	<ul style="list-style-type: none"> ●事前準備 ・机上に新聞紙を敷く。 ・材料の配付。 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設にある道具 カッター、小刀 カッターマット
5分	<ul style="list-style-type: none"> ●作り方と趣旨の説明 ・作品をつくりだす喜びを味わう。 ・豊かな発想や創造力を引き出す。 ・作品のよさや面白さを感じ取る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全指導
10分	<ul style="list-style-type: none"> ●素材みがき ・素材を紙やすりでみがく。(①と②は両面) 	<ul style="list-style-type: none"> ・塗装場所の用意 ・けがに注意
25分	<ul style="list-style-type: none"> ●イラスト・文字を描く ・素材に水性ペンや筆ペンで文字や絵を描く。 ---イラスト、言葉、名前、日付など。 ---描き終わったら、塗装場所に並べる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・黄色は塗装後、見えなくなるので注意
15分	<ul style="list-style-type: none"> ●塗装 ・クリアースプレーをかける(①と②は両面) ・塗料が乾燥したら次の事を行う。 ①バッグタグ作り→穴にひもを通し、結ぶ。 ②キーホルダー作り→穴にチェーンを通して、金具を留める ③ネームプレート作り→両用ピンを貼り付ける。 <p style="text-align: center;">～ できあがり ～</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・2回重ねがけをすると光沢がでる。 ・換気に注意



ウッドレジン

対象

小学校4年生以上

ねらい

作品をつくりだす喜び（創意工夫、達成感） 感性の違いの認め合い（鑑賞）

時間

60～90分程度

準備物

[団体] 新聞紙 水性ペン（ポスカ小、プロッキー小等） 活動により必要な物
 [購入するもの] ウッドレジンセット（レジン、輪切り材3cm程度、紙やすり、紐等）
 [ネイパル] 卓上ボール盤、UVライト、つまようじ

展開

時間	活動内容	留意点
	<ul style="list-style-type: none"> ●事前準備 <ul style="list-style-type: none"> ・新聞紙を敷く。 	
10分	<ul style="list-style-type: none"> ●ウッドレジンの作り方と趣旨の説明 <ul style="list-style-type: none"> ・豊かな発想や想像力を引き出しながら、作品をつくりだす喜びを味わう。互いの作品のよさや面白さを感じ取る。 ●用具の使い方の説明 <ul style="list-style-type: none"> ・やすりがけの方法、レジンの塗り方、UVライトの照射方法。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引率者はやすりがけデザイン担当、レジン担当に分担しておく、子どもの進行業況に合わせた対応が可能になる。
40～60分	<ul style="list-style-type: none"> ●形成（磨く、デザイン、色付け、レジン） <ol style="list-style-type: none"> ①輪切り材を紙やすりで両面とも磨く。 ②水性マジックでデザイン、色付けをする。（鉛筆で下書き可） ③レジンを片面に凹凸がないように1～1.5mm程度塗る。 ④UVライトを4分照射しレジンを固める。 ⑤穴に紐を通し縛る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・台紙の上に輪切り材を置き1円玉程度レジンを垂らす。「つまようじ」で平らにならしながら気泡をつぶし、UVライトをあてる。 ・UVライトは直視しない。
10～20分	片付け・清掃、振り返り (1) 片付け・清掃 <ol style="list-style-type: none"> ①机上のゴミをゴミ箱に捨てる。新聞紙を折りたたみ一カ所に集める。 ②床をほうきやモップで掃除し、長机を床の印に合わせ並べる。 (2) 振り返り <ol style="list-style-type: none"> ①お互いの作品を鑑賞し、いいなと思った点を教えてあげる。 ②工夫した点や上手かった点などを発表し交流する。 	

● 作成手順



表札づくり

対象 小学生以上

ねらい 作品をつくりだす喜び 自然との関わりへの関心


時間 70分～90分

準備物 [団体] 必要に応じて飾り付け用の木の実や枝など 新聞紙 接着剤（木工用ボンド及びグルースティック） 水性ペン 鉛筆

[購入するもの] 表札セット（板、フック、紐）

[ネイパル] 園芸用はさみ、キリ、ハサミ、グルーガン、延長コードなど

展開

時間	活動内容	留意点
	<p>●事前準備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・机上に新聞紙を敷く。 ・材料の配付。 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設にある道具 園芸用はさみ キリ ハサミ グルーガン 延長コード
10分	<p>●表札の作り方と趣旨の説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品をつくりだす喜びを味わう。 ・豊かな発想や創造力を引き出す。 ・作品のよさや面白さを感じ取る。 	
20分	<p>●材料集め（省略可）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設周辺の森から、装飾に使う木の実や小枝を集める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毒草や毒虫に注意
40分	<p>●作品づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デザインを考えながら、小枝や木の実などを板の上に並べる ---園芸用はさみで切るなど、並べながら大きさを調整する。 ・デザインが決まったら、木工用ボンドやグルーガンで板に接着する。 ---ボンドの乾燥時間がとれない場合、グルーガンのみを使用。 	<ul style="list-style-type: none"> ・机上に新聞紙を敷く。 ・やけどに注意 (グルーガン使用時)
15分	<p>●壁かけ用フックのとりつけ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フックを取り付ける位置に鉛筆で印をつけて、キリで穴を開け、フックをねじ込む。 ・フックにひもとおし、バランスの良い長さで結ぶ。 ～ できあがり ～ 	
5分	<p>●後片付け</p>	

写真立てづくり

対象

小学生以上

ねらい

作品をつくりだす喜び 自然との関わりへの関心

時間

70分～110分

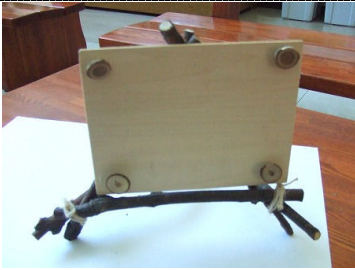
準備物

[団体] 必要に応じて飾り付け用の木の実や枝など 接着剤（木工用ボンド及びグルースティック） 新聞紙 水性ペン

[購入するもの] 写真立てセット（ベニヤ板、支柱=小枝、輪ゴム、麻紐、丸型木片、画鋏）

[ネイパル] 園芸用はさみ グルーガン 延長コードなど

展開

時間	活動内容	留意点
	<p>●事前準備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・机上に新聞紙を敷く。 ・材料の配付。 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設にある道具 園芸用はさみ グルーガン 延長コード
5分	<p>●写真立ての作り方と趣旨の説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品をつくりだす喜びを味わう。 ・豊かな発想や創造力を引き出す。 ・作品のよさや面白さを感じ取る。 	
20分	<p>●材料集め（省略可）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設周辺の森から、装飾に使う木の実や小枝を集める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毒草や毒虫に注意
10分	<p>●スタンドの組み立て</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小枝を組み合わせて写真立てのスタンドを組み立てる。 ---交差部分を輪ゴムでとめ、目隠しの麻ひもをまく。 	
35～55分	<p>●飾り付け（省略可）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・写真を貼る板やスタンドを、集めてきた木の実や小枝などで飾る。 ---木工用ボンドやグルーガンで接着する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・やけどに注意（グルーガン使用時）
10分	<p>●飾りピンの作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木工用ボンドで、画鋏に目隠し用木片を貼り付ける。 ～ できあがり ～ 	
10分	<p>●後片付け</p> 	

マイはしづくり

対象 小学5年生以上

ねらい 作品をつくりだす喜び 自然との関わりへの関心 環境保全

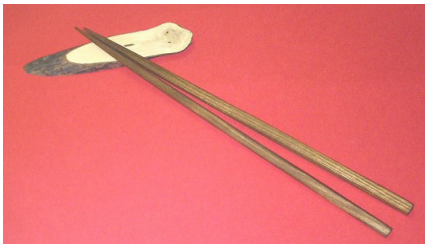
時間 150分

準備物 [団体] 新聞紙など

[購入するもの] マイはしセット（マイ箸、紙やすり、蜜蝋、蜜蝋塗布用ペーパー）

[ネイパル] カッター又は小刀 カッターマットなど

展開

時間	活動内容	留意点
	<p>●事前準備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・机上にカッターマットおよび新聞紙を敷く。 ・材料の配付。 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設にある道具 小刀 カッター カッターマット
10分	<p>●マイはしの作り方と趣旨の説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品をつくりだす喜びを味わう。 ・豊かな発想や創造力を引き出す。 ・作品のよさや面白さを感じ取る。 ・木材資源の保全など、環境について考える。 	
90分	<p>●削りだし</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小刀やカッターで、素材を箸の形に削り出す。 ---①角を丸く削る。 ②先の形をととのえる。 ※模様を刻み込んだりすると、さらに個性的な作品になる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・机上にカッターマット および新聞紙を敷く。 ・ケガに注意
20分	<p>●みがき</p> <ul style="list-style-type: none"> ・紙やすりで、素材の表面がなめらかになるまでみがく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・紙やすりでみがいた後は、 刃物ではけずらない。
20分	<p>●塗装</p> <p>コーティング材（みつろう、オリーブ油など）を紙に含ませ 素材にこすりつける。 ---素材の色が変わらなくなるまで、こすりつける。 ～できあがり～</p>	
10分	<p>●後片付け</p> 	

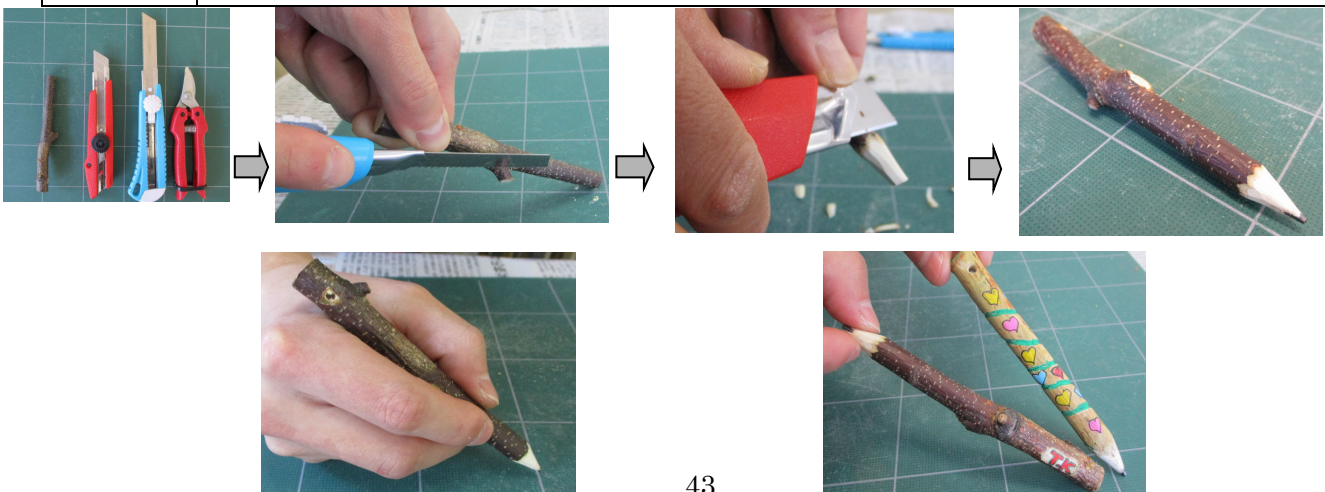
※団体の人数によっては、3時間とっていただいたほうがよい場合があります。

えだエンピツ

- 対象** 小学校4年生以上
- ねらい** 作品をつくりだす喜び（創意工夫、達成感） 自然との関わりへの関心（自然愛護）
- 時間** 60分～90分
- 準備物** [団体] 新聞紙 水性ペン（マッキー、ブロッキー等） 活動により必要な物
 [購入するもの] えだエンピツ
 [ネイパル] カッター、小型のこぎり、園芸用はさみ

展開

時間	活動内容	留意点
	<ul style="list-style-type: none"> ●事前準備 <ul style="list-style-type: none"> ・新聞紙を敷く。 ・材料の配付。 	<ul style="list-style-type: none"> ・カッターは事前に机上に準備しておく。
10分	<ul style="list-style-type: none"> ●えだエンピツの作り方と趣旨の説明 <ul style="list-style-type: none"> ・豊かな発想や想像力を引き出しながら、作品をつくりだす喜びを味わう。互いの作品のよさや面白さを感じ取る。 ●用具の使い方の説明 <ul style="list-style-type: none"> ・カッターの刃の長さは1か2めもり。刃の前に指をおかない。 ・のこぎりは刃を全て出し、力を加えず、重みで引く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全対策として、カッターの使い方を実演する。また、けがをするパターンも例示する。 ・カッターを使っている人のそばには近寄らないことを互いに確認する。
40～60分	<ul style="list-style-type: none"> ●形成（削る、切断する） <ol style="list-style-type: none"> ① unnecessary 枝をのこぎりで切る。 ② 先端から2cm程度を「えんぴつ」のように削る。 ③ 必要に応じて、持ち手部分を削り、マッキーなどで着色する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・着色を希望しない場合は、皮を少し削りイニシャルや記号などを書いても良い。
10～20分	片付け・清掃、振り返り (1) 片付け・清掃 <ol style="list-style-type: none"> ① 机上のゴミをゴミ箱に捨てる。新聞紙を折りたたみ一カ所に集める。カッター、のこぎり等の借用物は指定の場所に戻す。 ② 床をほうきやモップで掃除し、長机を床の印に合わせ並べる。 (2) 振り返り <ol style="list-style-type: none"> ① お互いの作品を鑑賞し、いいなと思った点を教えてあげる。 ② 工夫した点や上手かった点などを発表し交流する。 	



ワックスボールづくり

対象 小学3年生以上 **定員** 30名

ねらい 作品をつくりだす喜び 環境保全への意識

時間 60分

準備物 [団体] 汚れてもよい服装

[購入するもの] ワックスボール

[ネイパル] 風船 ガスコンロ 鍋 パケツ たらい 竹串 ざる 新聞紙 布
彫刻刀 カッターなど

展開

時間	活動内容	留意点
(30分)	<p>●事前準備</p> <ul style="list-style-type: none"> 汚れてもよい服装をする 大量のロウを入れたなべを火にかけて溶かす。 	<ul style="list-style-type: none"> 施設にある道具 ガスコンロ、なべ、風船 たらい、カッター、布 彫刻刀、竹串、パケツ
5分	<p>●ワックスボールの作り方と趣旨の説明</p> <ul style="list-style-type: none"> 作品をつくりだす喜びを味わう。 豊かな発想や創造力を引き出す。 作品のよさや面白さを感じ取る。 省エネルギーなど、環境保全について考える。 	
10分	<p>●水風船づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 洗面所で風船に水を入れ、リンゴ大くらいにふくらませる。 	<ul style="list-style-type: none"> できるだけ、空気を入れないようにする。
15分	<p>●ボールづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 風船をしずかに肩口くらいまでなべのロウにつけ取り出す。 ロウが5mm位の厚さになるまでロウにつけ、取り出すのをくりかえす。 	<ul style="list-style-type: none"> 落ち着いてゆっくりと作業する。
5分	<p>●ロウを固める</p> <ul style="list-style-type: none"> 風船の底を平らにするため、水をはったたらいの底に風船を押し当てる。 水の中で風船を竹串で割り、ロウを取り出す。 	<ul style="list-style-type: none"> 風船につけたロウがあたたかいうちに風船の底を平らにする。
15分	<p>●形をととのえる（省略可）</p> <ul style="list-style-type: none"> カッターや彫刻刀で、形をととのえ、模様などを彫り込む。 	
10分	<p>●後片付け</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>	

七宝焼き

対象 小学4年生以上

定員 30名

ねらい 作品をつくりだす喜び

時間 110分～120分

準備物 [団体] 新聞紙

[購入するもの] 七宝焼キーホルダー

[ネイパル] 七宝電気炉 制作用具（絵の具等）

展開

時間	活動内容	留意点
(50分)	<p>●事前準備</p> <ul style="list-style-type: none"> 七宝電気炉を作動させ加熱を始める。 	<ul style="list-style-type: none"> 施設にある道具 七宝焼き制作用具一式 七宝電気炉
10分	<p>●七宝焼きの作り方と趣旨を説明</p> <ul style="list-style-type: none"> 材料と用具の配付。 作品をつくりだす喜びを味わう。 豊かな発想や創造力を引き出す。 作品のよさや面白さを感じ取る。 	
10分	<p>●七宝絵の具の準備</p> <ul style="list-style-type: none"> 絵の具の入った容器に水を入れ、絵の具を洗う。 	
10分	<p>●七宝素材（銅板）の下地づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 銅板の表面を紙やすりでみがく。 	
20分	<p>●絵の具の盛りつけ</p> <ul style="list-style-type: none"> 磨いた銅板の表面に下絵を書き、絵の具を盛りつける。 	<ul style="list-style-type: none"> 絵の具がはみださないように気をつける。
30分 40分	<p>●作品を焼く</p> <ul style="list-style-type: none"> 七宝電気炉に作品を入れて焼く。（1つ2分30秒程度） 作品を取り出した後は、さわれる温度まで自然冷却する。 	<ul style="list-style-type: none"> やけどに注意
10分	<p>●キーホルダーのとりつけ</p> <ul style="list-style-type: none"> キーホルダー金具に、作品を接着剤ではりつける。 ～ できあがり ～ 	<ul style="list-style-type: none"> 金具にはまらない時は、金ヤスリで作品のまわりをけずる。
20分	<p>●後片付け</p>	

草木染め

対象 小学生以上

定員 30名

ねらい 作品をつくりだす喜び 快適な衣服とすまい 自然との関わり

時間 180分

準備物 [団体] 草花 染色する白い木綿の布 カセットコンロ用ガス 豆乳又は牛乳 媒染剤
ゴム手袋 新聞紙

[ネイパル] カセットコンロ 草木染め用具一式

展開

時間	活動内容	留意点
(10分)	<p>●事前準備</p> <ul style="list-style-type: none"> 汚れてもよい服装をし、調理用手袋を装着する。 	<ul style="list-style-type: none"> 施設にある道具 草木染め用具一式
10分	<p>●草木染めの方法と趣旨を説明</p> <ul style="list-style-type: none"> 作品をつくりだす喜びを味わう。 豊かな発想や創造力を引き出す。 作品のよさや面白さを感じ取る。 	
20分	<p>●植物の採取</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設周辺の森で植物を採取する。(持参も可) 	<ul style="list-style-type: none"> 毒草や毒虫に注意する
20分	<p>●布の精錬</p> <ul style="list-style-type: none"> 布の不純物をとりのぞく。 	
60分	<p>●染色液の抽出</p> <ul style="list-style-type: none"> 植物を湯せんし、染色液をとる。(1時間以上) 染色液に媒染剤(薬品)をいれる。 	<ul style="list-style-type: none"> 媒染剤(色素の定着を高める薬品) 薬品の取り扱いに十分注意する。
40分	<p>●染色</p> <ul style="list-style-type: none"> 染色液に布を入れ煮染めする。(30分以上) 	
20分	<p>●水洗い・乾燥</p> <ul style="list-style-type: none"> 染色した布を水洗いする。 風通しの良い日陰に干す。 	<ul style="list-style-type: none"> 完全乾燥まで数時間必要
10分	<p>●後片付け</p>	



草木染めマスク

対象

小学生以上

定員

30名

ねらい

作品をつくりだす喜び 生活を豊かにするための布を用いた制作 水溶液の性質

時間

180分

準備物

[団体] ゴム手袋 新聞紙 豆乳又は牛乳（なくても良いがあれば色が濃く出る）
[ネイパル] カセットコンロセット 草木染め用具一式 媒染剤 マスク材料一式


展開

時間	活動内容	留意点
	<p>事前準備</p> <p>ネイパル職員とともに、会場準備を行う。長机、コンロ、バケツなど必要物品を整え、湯通しができる状態まで整える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・実施 30 分前に担当者は研修室に集合。
20分	<p>●全体の流れを説明</p> <p>①染色液づくり：植物の選択→軽量→煮出し</p> <p>②マスクづくり：布にアイロンで折り目をつける→ゴムを入れ両サイドを縫う。（並縫い、半返し縫い）</p> <p>③湯通し（マスクをお湯にさっと通す）</p> <p>④染色1回目（弱火で15分程度煮染めする）</p> <p>⑤媒染（媒染液を選び、染色したマスクを15分程度つける）</p> <p>⑥染色2回目（中火で5～10分程度かき混ぜながら染める）</p> <p>⑦水洗い（洗面所の流水で色水が出なくなるまで洗う）</p> <p>⑧乾かす（タオルにはさみ水分をとる）</p> <p>⑨アイロンがけ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・アイロンがけは3つ折で1回、左右の折り目で1回ずつ行う。 ・別紙解説プリントを用いて説明する。プリントは人数分用意しておく。（団体で持参）
70分	<p>●染色液と媒染液の選択</p> <p>●媒染液づくり（鍋に材料を入れ、煮込む）</p> <p>●マスクづくり（媒染液づくりと同時進行）</p> <p>①布、針、糸、ゴムを受け取る</p> <p>②布を3つ折りしアイロンで折り目をつける。左右は1.5cm程度折り目をつける。</p> <p>③マスクにゴムを通し、左右各1カ所を縫う（並縫 or 半返し縫い）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・媒染液は担当者でつくる ・火傷、創傷への配慮。 ・縫い針とまち針の使い方の説明を行う。 ・縫い終わった人から、随時染色を始める。
80分	<p>●染色</p> <p>①染色液につける（1回目） ②媒染液につける</p> <p>③染色液につける（2回目） ④流水で洗う</p> <p>⑤乾かす ⑥アイロンがけ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・熱湯やコンロでの火傷に配慮する。 ・染色液が衣服に付くととれないので注意する。 ・流水で洗う場所は1F洗面所。
10分	<p>●後片付け</p>	

うどんづくり（冬季 11月～3月）

- 対象** 小学生以上
- ねらい** 協調性の育成 日常の食事と調理の基礎
- 時間** 150分
- 準備物** [団体] エプロン 三角布 使い捨て手袋 ふきん（1班2枚） テーブル拭き ポリ袋大（1班に2枚） 洗剤 スポンジ ラップ
[ネイパル] ボール ふるい めん棒 のし板 麺切包丁 こま板

展開

時間	活動内容	留意点
	<ul style="list-style-type: none"> ●事前準備 <ul style="list-style-type: none"> ・つめを切り、手をよく洗う。 ・エプロン、三角布、使い捨て手袋を用意する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設にある道具 ボール（大）、ふるい めん棒、のし板、麺切包丁、こま板
5分	<ul style="list-style-type: none"> ●うどんの作り方と趣旨の説明 <ul style="list-style-type: none"> ・自分の手で食べ物をつくりだすことの喜びを味わう。 ・共同作業による協調性を育てる。 ・清潔、安全に気をつけて行動する。 	
55分	<ul style="list-style-type: none"> ●うどんの生地づくり <ul style="list-style-type: none"> ・ボール内で粉をふるいにかける。 ・粉に食塩水をいれながら、指で全体に混ぜ合わす。 ・両手で力を入れて、内側にもみこむように練る。 ・生地がまとまったら、ポリ袋に2重にして入れる。 ・ポリ袋に入れた生地を、足でふんでこね、たたんでこねをくりかえす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・丈夫な袋を用意する。
60分	<ul style="list-style-type: none"> ●ねかし <ul style="list-style-type: none"> ・生地をぬれふきんで包み、ラップで包んでねかせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1時間以上ねかせる。 ・ねかせている間の活動などを考えておく。
40分	<ul style="list-style-type: none"> ●めんづくり <ul style="list-style-type: none"> ・のし板とめん棒に打ち粉をして、ねかした生地をのばす。 ・のばした生地をたたんで、包丁で切る。 ・切っためんをほぐして、おぼんにならべる。 ・めんを厨房にもっていき、ゆでて調理してもらう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・なるべく長方形になるようにのばす。 ・できるだけ細く切る。 ・めん同士がくっつかないように粉をまぶす。
20分	<ul style="list-style-type: none"> ●後片付け ●試食（昼食） 	

ピザづくり（夏季5月～10月）

対象

小学生以上

定員

石窯40名、簡易かまど120名

ねらい

食に関する体験的な活動 望ましい人間関係 異年齢集団交流 地産地消など

時間


180分～210分（人数で変動する）



準備物

[団体] エプロン、ハンダナ、軍手、ピザ食材（購入可能）、アルミホイル（大・数本）、ラップ（大・数本）、ふきん（各グループ2枚）、テーブルふき（各グループ1枚）、ゴミ袋（燃えるゴミ大1枚、燃えないゴミ1枚、生ごみ用1枚）、皿（紙皿）、調理用使い捨て手袋（1人2セット）、洗剤、スポンジ、まき（石窯、購入可）、炭（簡易かまど、購入可）

[ネイパル] のし板、のし棒、ボール、ふるい、フォーク、計量カップ、ピザカッター、スケッパー、ハサミ、まな板、包丁、トレー、水切りネット、小どんぶり、皿、金属製のヘラ、耐熱手袋（石窯）、ピザパドル（石窯）

展開

時間	活動内容	留意点
10分	●趣旨説明 ・ピザの調理工程、石窯の特性などの説明	・作り方の資料をグループに配布。
30分	●ピザ生地づくり ・強力粉と薄力粉をふるいにかけて、イーストや砂糖、塩、水などを混ぜ、滑らかになるまでこねる。 ・丸めた生地をボールに入れ、ラップをかぶせて湯煎して、発酵させる。（約15分） 	・発酵時間の間に野菜やウインナーを準備し、調理道具を片付ける。
60分	◎石窯でピザを焼く場合 ・石窯の下段で薪を燃やし内部を加熱する。 ※ 窯内部のススが燃えて内壁が白くなるまで薪を燃やします。下段の火は、ピザを焼く時に「熾き火（おきび）」になっている事が理想的。	◎簡易かまどでピザを焼く場合 ・木炭に着火し、簡易かまどを組立てる ※ 木炭は、各かまどにそれぞれ必要。 準備が早すぎるとピザを焼き上げる前に木炭が燃え尽きてしまうので、タイミングが重要。
	●トッピングの用意 ・ウインナーや野菜を薄切りにする。 ●ピザの成型とトッピング ・2倍位にふくれた生地を、ガス抜きする。 ・生地をスケッパーで均等に切り分け、丸く平らに伸ばす。 ・アルミホイルを生地の大きさに合わせて、お皿を作る。 ・アルミホイルのお皿に打ち粉をしっかりとかけてから、伸ばした生地をのせる。 ・生地が膨らまないようにフォークで穴をあける。 ・ピザソース、具、チーズの順にトッピングする。	・アルミホイルのお皿にかけると打ち粉が少ないと生地とアルミホイルがくっつく。 ・ピザソースがのし板につくと取れないため、ピザソースをぬる前には、のし板を片付け。 ・のし板に粉が付着している場合は、金属製のヘラで削り取る。

<p>30分 ～ 60分</p>	<p>◎ 石窯でピザを焼く場合</p> <ul style="list-style-type: none"> • 上段にピザを入れたら、入り口をレンガでふさぎぐ。(一つのかまどには3～4枚入る。) • 焼きムラにならないよう、必要に応じて位置を変える。 <p>※ 窯内部の温度にもよりますが、焼き上げまで5分～10分程度かかります。</p> <p>また、後になるほど焼き上げに時間がかかる。</p> 	<p>◎ 簡易かまどでピザを焼く場合</p> <ul style="list-style-type: none"> • かまどと木炭を配置する。 • かまどにピザを1枚入れる。 • 中の様子を見て火加減を調整する。(炭を追加したり、除けたりする) • 焼き上がったら次のピザと入れ替える以後繰り返し。 <p>※炭の状態によりますが、焼き上げまでは5分～10分程度かかる。</p> 
<p>50分</p>	<p>● 試食・片付け</p> <ul style="list-style-type: none"> • 片付けを分担し、元の場所へ道具を戻す。 	

室内活動アクティビティ

- 1 SDGsってなんだろう&すごろく (小学生用)
- 2 SDGsすごろく「Go Goals」(中学生用)
- 3 コミュニケーショントレーニング

SDGsってなんだろう & すごろく

- 対象** 小学4年生～6年生
- ねらい** 克服をテーマに課題を見つける能力を養い、すごろくを通して楽しみながらSDGsへの知識を高めます。
- 時間** 110分～130分
- 人数** 1班4～7名程度
- 準備物** [団体] 班割表 筆記用具
[ネイパル] スライド、ワークシート、すごろくシート
- 展開**



時間	活動内容	留意点
	<ul style="list-style-type: none"> ●事前準備 <ul style="list-style-type: none"> ・PC、プロジェクターを設置する。 	PC、プロジェクターはネイパルで貸出可能。スライド（Power Point）はPCデスクトップに有り。
45～50分	<ul style="list-style-type: none"> ●本日の活動内容を理解し、「SDGsってなんだろう」のスライドを見ながらSDGsの基礎知識を高め、課題（問題）に気づく力を養う。 <ul style="list-style-type: none"> ・人類はどのようにして課題を克服してきた？ ・SDGsとは何か？17のターゲットとは？ ・世界で起こっている諸問題は？ ・自分にできることは何か？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・自ら課題に気づく力を養うため、ワークシートに考えを記述する時間をしっかり確保する。 ・考えを引き出す発問を意識的に行う。
10分	休憩	トイレは1階に2カ所。
45～60分	<ul style="list-style-type: none"> ●グループワーク（すごろくに挑戦）遊び方 <ul style="list-style-type: none"> ・順番を決め、順番にそってサイコロを振り、コマを進める。 ・イベントマスに止まった場合は、内容を読んでからもう一度サイコロを振って行動を決める。 ・必ず止まるマスでは、必ず止まりイベントを進める。 ・赤丸のマスは1回休み。 ・青丸のマスはもう一度サイコロを振って、出た目の数進む。 ・最初にゴールした人が勝ち。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全員がゴールできなくとも時間になったら終了する旨をはじめの前に伝える。 ・慣れてくるとイベントマスの内容を読まずにサイコロを振るようになるので、その都度声かけを行う。 ・ターゲットマスの問題は、その後の展開が有利になるものが正解となっている。
10分	<ul style="list-style-type: none"> ●振り返り・片付け <ul style="list-style-type: none"> ・今後、取り組みたいことなどを発表。 ・机、椅子をもとの位置に戻す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の生活において小さなプラスの行動が起こせるような振り返りにする。

※SDGs環境すごろく「環境戦隊サスティナー」は、株式会社プリプレス・センターが無償配付しているものを使用しています。

SDGs すごろく「Go Goals」

対象 中学生

ねらい 楽しみながら SDGs への知識を高め、積極的に取り組む動機付けを行う。

時間 90分

人数 1班4～7名程度

準備物 [団体] 班割表、振り返りシート
[ネイパル] 遊戯盤、サイコロ、コマ

展開



時間	活動内容	留意点
	<p>●事前準備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長机を向かい合わせ、机上に遊戯盤、人数分のコマ・サイコロを置く。 ・PC、プロジェクターを設置する。 	<p>PC、プロジェクターはネイパルで貸出可能。スライド(Power Point)はPCデスクトップに有り。</p>
15分	<p>●本日の活動内容を理解し、スライドを見ながら SDGs の概念を学ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SDGs とは何か？17 のターゲットとは？ ・世界で起こっている諸問題は？ ・自分にできることは何か？ 	<p>グループワークを通して学びを深めるので、スライドは簡単に終わらせる。</p>
60分	<p>●グループワーク(すごろくに挑戦)</p> <p>遊び方</p> <ol style="list-style-type: none"> ①盤上には 63 個のマス目があります。サイコロを振って出た数だけ前に進めます。 ②プレイヤーはスタートのマス目にコマを置き、順番にサイコロを振って出た数だけ進みます。 ③はしごの下で止まったら、はしごを登って進むことができます。 ④ウォータースライダーの上で止まったら、滑り落ちて後戻りしなければなりません。 ⑤SDGs 17 の目標のいずれかのマス目で止まったら、カードを引くことができます。引率者がカードのクイズを読み上げます。正解すればもう一度サイコロを振ることができます。 ⑥「2030」のゴールに最初にたどり着いたプレイヤーの勝ち。サイコロを振ってゴールまでピッタリの目をだしたら上がりです。それ以上の目を出したら、その分だけコマを戻します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1班に1人引率者がつくにより学びを深めることができる。引率者は、カードを読み上げるが、プレイヤー全員が問題に注目して答えを考えられるように誘導すると良い。(回答するのは当事者のみ) ・班の数に対して引率者数が不足する場合は、回答者以外のプレイヤーが問題を読み上げる。
15分	<p>●振り返り・片付け</p> <ul style="list-style-type: none"> ・振り返りシートに各自記入。今後、取り組みたいことなどを発表。 ・机、椅子をもとの位置に戻す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の生活において小さなプラスの行動が起こせるような振り返りにする。

※Go Goals は国連地域広報サービスが創作者ヤシン・アイトゥ・カシの協力を得て作ったものです。

コミュニケーショントレーニング

- 対象** 小学生以上
- ねらい** 望ましい人間関係づくり コミュニケーション 異年齢集団交流
- 時間** 60～100分程度
- 人数** 1班4～7名程度
- 準備物** [団体] 筆記用具
[ネイバル] 資料・用具など
- 展開**

時間	活動内容	留意点
	<p>●事前打ち合わせ</p> <p>プログラムは、団体のねらいや参加者の実態に合わせて計画していくので事前調査書を提出して職員との事前打ち合わせをお勧めする。</p>	<p>・実施日の30日前までに事前調査書を提出する。</p>
10～20分	<p>●オリエンテーション</p> <p>(1) 挨拶、自己紹介</p> <p>(2) アイスブレイク</p> <p>(3) 活動のねらい、ながれを確認</p> <p>(4) 約束事の確認</p>	<p>・活動のねらい、ながれを伝えることで、見通しをもって取り組んでもらう。</p>
30～60分	<p>●グループワーク</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>例1 ペーパータワー</p>  <p>協力して紙を高く積み上げる。</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>例2 ヘリウムフープ</p>  <p>指先にフラフープを乗せて協力して下まで下ろす。</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;"> <p>例3 ボールレスキュー</p>  <p>3本のロープを使って協力してボールを運ぶ。</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>例4 絵本作り</p>  <p>グループで話し合い、絵を並べ、絵本を完成させる。</p> </div> </div>	<p>・引率の先生に参加者の様子を見てもらうとともに、人数が足りない場合はゲームに参加してもらおう。</p> <p>・グループ間の競争にならないように留意する。</p> <p>・適宜作戦タイムを取って話し合いをしながらグループワークを進めるよう促す。</p>
10～20分	<p>●振り返り・まとめ</p> <p>(1) 振り返りシートに記入</p> <p>(2) 全体交流</p>	<p>・振り返りの感想を発表してもらい、全体で交流する。</p>